

2025年度
南山大学

総合型入試
[資格・検定試験活用型]
問題集

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

英米学科	1
スペイン・ラテンアメリカ学科	3
フランス学科	4
ドイツ学科	6
アジア学科	9
経営学科	12

Read the following excerpt from a newspaper advice column and then answer the questions below.

-Ask Philippa-

Every week Philippa Perry addresses a personal problem sent in by a reader. If you would like advice from Philippa, send in your question or problem.

I've graduated but I worry that only being average will affect my future

The question:

I am a 22-year-old woman who has just graduated from university, and I am feeling extremely average. I grew up in an “education-heavy” household where success was measured by excellent grades and prestigious universities, and any good grades I received didn't seem satisfactory. I used to think that doing well in school was not the only measure of intelligence, yet when I meet people who did well in school, they are impressive and have careers that I envy. I worry that not being as distinguished as them will affect my future and that I will never measure up to them.

*I am very lucky in many ways and recognise I am naturally gifted at some things, however in my mind it is not enough. I constantly feel I have **impostor syndrome*** and need to prove myself. I am scared that I will feel like this for the rest of my life and will never feel satisfied with myself; that any success will not be enough because I will never have the same achievements as others. I'll just be average forever.*

Philippa's answer:

Marcus Aurelius, one of the Roman emperors, said, “Very little is needed to make a happy life; it's all within yourself, in your way of thinking.”

Subtle adjustments to how you think about things can make a significant difference. We could start with your assumptions around impostor syndrome. You seem to think it's a bad thing. It isn't. When we experience impostor syndrome it means we are trying out something new, something we are not used to doing yet. If we don't try that something, we will never know whether we can do it. And, just because we don't feel like we belong, it doesn't mean we don't belong. It is more to do with how we are talking to ourselves about it – and we do have the power to change how we talk to ourselves. Be more Aurelius.

When it comes to education, I think the most important thing we can ever learn is how to love and appreciate other people. Aurelius emphasised the connection between humanity and sympathy, and the virtues of understanding and forgiveness. He believed that all humans are part of a larger community. Thinking about this I'm not sure where wanting to be more than, and better than, the majority of people fits in. Most of us do fall into the “average” category. This is a natural outcome in any large population and what you need to know is that being average does not reduce your individual worth.

We often praise exceptional achievements, but everyday, ordinary successes are what make up the majority of contributions to society and also a fulfilling life. Yes, it's nice to get an A* or win a prize. It feels incredible,

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 英米学科>

no doubt, to win a gold medal at the Olympics, but it is the details of everyday life that make the most difference to quality of life, even for those people with the gold medals. A medal is decoration on a cake, but we can't live on decorations, we need the more substantial stuff underneath.

Parents love their children and want them to do well in education so that they can support themselves and be independent. But too often this drive for academic success sweeps away the more important skill of also living in the present and appreciating every moment and each person. Each of us is so much more than our academic achievements.

You did try to think differently, but that initial programming you received is strong. I'm reminded of a horse with **blinkers*** on. Take the blinkers off, look around, read widely. You will see average people enjoying extraordinary relationships, appreciating their worlds, experimenting with change, pursuing their passions and getting the most out of life. Averageness, like impostor syndrome, can be embraced.

Don't be in a hurry to achieve all the usual goals that are supposed to lead to a successful life. Don't try to measure success just in grades and job titles. Instead, accept where you are, explore what interests you and take away the pressure that comes from comparing yourself to others. Watch how you are talking to yourself and congratulate yourself when you notice an unhelpful thought pattern you need to change. Change will take practice. Be patient. Be curious about yourself. Think about ways to be creative, ways to be kind, ways to get involved and belong. We all have our own unique journey through life. Comparing your journey to others' can lead to feeling dissatisfied and overlooking the unique contributions you have to make.

Record your progress in a journal. *The Daily Stoic Journal, 366 Days of Writing and Reflection on the Art of Living* by Ryan Holiday has helpful quotes and questions that will help you identify your ways of thinking that might not be working for you.

Marcus Aurelius also said: "The soul becomes dyed with the colour of its thoughts." I think he knew what he was talking about.

* **imposter syndrome**: 仕事において成功しているにもかかわらず、自分を過小評価する心理傾向

* **(horse) blinkers**: (馬の) 目隠し革

Source: Perry, Philippa. (2024, September 15). "I've graduated but I worry that only being average will blight my future". The Guardian. (With modification.)

【設問1】 本文の内容全体を日本語で要約しなさい。(1,000字程度) ※原稿用紙を使ってください。

【設問2】 Do you think being 'average' is enough for a good life in Japan? Please explain your opinion with detailed examples. (Approximately 150 words in English.) ※無地の用紙を使ってください。

出典 : I've graduated but I worry that only being average will blight my future by Philippa Perry, The Guardian, 15 Sep 2024. Copyright Guardian News & Media Ltd 2025

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科>

次の2つの設問①・②からひとつを選び、1000字程度で論述しなさい。解答用紙にどちらの問題を選択したか問題番号を明記し、小論文の冒頭（枠内の冒頭）にはタイトル（題目）を記しなさい。また、アルファベットで表記される語句を用いる場合、2文字（語間にスペースがある場合、それも1文字とする）で回答用紙の1マスを使うこと。

- ① バルセロナが「ガウディ建築の街」と呼ばれる理由をめぐって論述を展開させなさい。その際、1882年に建築が開始されたカトリック関連のガウディ建築を例として取り上げ、その建造物の名称を明示しながら考察しなさい。また、同建造物を分析するにあたり、「石の聖書」というキーワードを用いて論述を進展させなさい。そして、あなたの意見を結論まで導いていく過程において、バルセロナの街とガウディ建築の関係性も明らかにしなさい。
- ② スペイン語には、地域によって発音や語彙、文法が異なる、地理的バリエーションが存在する。この多様性の要因の一つは、スペイン語が広範囲で話されていることにある。加えて、他言語との言語接触も一要因である。スペイン語圏で話される他の言語からの影響を受けることで、スペイン語に様々なバリエーションが生じている。
まず、スペインとラテンアメリカにおいて使用されているスペイン語以外の言語を一言語挙げ、その言語が使用されている地域も明示しなさい。さらに、上述のようにスペイン語が多様な地理的バリエーションを内包していることをふまえて、日本に在住しながらスペイン語を学習する際はどのようなことに配慮すべきだと考えるか、意見を述べなさい。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 フランス学科>

以下は、「自由」の意味について論じる著作の冒頭部分の文章である。それを読んで以下の二つの設問に答えて下さい。

「選択可能性」の意味、またその自由概念との結びつきは、考えるまでもなく明白だろう。実際、哲學に限らず、多様な文脈で用いられる「自由」の語が、基本的に「複数の選択肢が存在する」という意味合いを持つことは疑いようがない。例えば「自由度の高い競技」と言えば、その競技で取り得るスタイルや作戦についての選択肢の多さを指している。また「同性同士の結婚の自由が日本にない」と言うとき、日本には同性同士が結婚する選択肢が法律上存在しないということが意味されている。そして、これまでの自由（自由意志）の話に立ち返れば、日常的に何かを選択するとき、そこでは都度、文字通り様々な選択の可能性が開かれていると私たちは考えている。

しかし、自由が、複数の選択肢の存在としてだけ捉えられるのであれば、自由に込められた意味を十全に理解できているとは言えない。ここで「自己決定性」という概念に注目したい。自由概念の中心はむしろ自己決定性にあり、選択可能性は、その自己決定性が成立するために欠かすことのできない要素として考える必要がある。〔中略〕ここでは、自由を自己決定性の観点から捉えることで、計画や迷い、もしくは責任や後悔という私たちの実践と、自由との結びつきがはっきりすることを確認してみたい。

何をするか、自己決定できると考えることは、自分が未来にどう生きるか、自分が今後どのような人生を歩むかを、自分自身が決められるという理解へと繋がる。今私がこうして哲学に関する本を書いているのも、私が学部時代に民間企業へ就職するのではなく、研究の道に進むことを自分で決め、そのために研究を続けてきたゆえであろう。一方で、もし私にただ一つの道を歩む選択肢しかなかったのであれば、私が私の人生を決めたと言うことはできなくなるだろう。こう考えるとき、私たちは、未来で何を行うかは事前に決定されてなどいないと理解している。未来はこれからの自分の行い次第で決まると考え、ゆえに私たちは例えば将来に向けて計画を立てることになる。

自分の現在の選択が、未来のあり方を決定すると考えるために、私たちは何を選択するかを深く思い悩むことにもなる。具体例として、サルトルが「実存主義はヒューマニズムである」で語った、ある青年からの相談について取り上げてみたい。

第二次世界大戦中、フランスがドイツの占領下にあったころ、ある青年が人生相談のためにサルトルのもとを訪れた。青年は母親と二人で暮らしており、母親は、彼の存在だけを生活の救いとしていた。母には青年しか頼りにできる者はおらず、彼がいなくなれば母は絶望の中で生きていくことになるだろう。一方で青年は、兄を戦死させたドイツ軍に対して強い復讐心を抱いていた。それゆえに彼は、自由フランス軍に身を投じ、レジスタンスとして戦いたいという強い思いも持っていた。しかしもちろん、戦地に赴くことは、家を出て母を置き去りにすることを意味する。このような選択肢を前に、青年が深く悩み、苦しむのは、彼のその選択が、母がどのように生き、どのように人生を終えるのかを左右すると考えるからだろう。選択肢が存在し、未来に何が起きるか、その少なくとも一部分は彼が決め、彼にかかっているのだという思いが、彼を煩悶させることになる。

責任と自己決定性の結びつきも明らかだろう。昨今、自己責任論の行き過ぎが糾弾される中で、「親ガチャ」と呼ばれる主張——どんな親から、どのような環境のもとで生まれるかという、自分の自由にな

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 フランス学科>

らない運の要素によって、人生は決まってしまう——が散見される。そしてこのような言説に対しては典型的に、「少なくとも日本の環境では、どのような生育環境であっても本人の努力次第で人生は変えられるはずだ。親ガチャを主張するのは責任逃れだ」といった言葉が返されることになる。ここでは親ガチャの主張の可否は論じない。本書において重要なことは、この対立は、生まれ落ちた環境が人生を決めてしまうために、自分の生き方には選択肢などないのか、~~それ~~とも人生には自己決定の余地が残されているのか、という論点を巡るものであり、また同時に、その自己決定性の問題が、その人生を生きることになった責任はどこに（誰に）あるのかという責任の問いと繋がっていることである。

以上のように、「選択可能性を必要条件とする自己決定性」として自由概念を理解することで、自由概念と結びつく思考や実践との繋がりが明瞭となる。確かに自由の哲学の一つの伝統として、自由はしばしば選択可能性の存在と同一視されてきた。ここで、自由と選択可能性を結びつける理解自体が、間違っていると言いたいわけではない。本書でも自由を、「選択の自由」と単純に呼ぶこともある。しかし、同時にその選択可能性が何にとって欠かすことができないものとして求められるのかを見定めなければ、自由概念は十分に理解されたことにならない。選択可能性は、自己決定性の成立に必要な要素であり、選択可能性が不在のとき、自己決定性も不在となる。このような意義を持つものとして選択可能性は理解されなければならない。この自由と自己決定性の結びつきを認めるならば、自由な選択とは、いわば自己による選択であることになる。人は自由であるがゆえに、自分の生きる人生を自分自身で形作ることができる。選択肢の存在は、そのために必要不可欠な要素なのである。

（出典：李太喜『自由と自己の哲学——運と非合理性の観点から』岩波書店、2024年、6-9頁。（一部改変））

【設問】

(1) 筆者は、あることを説明する具体例としてサルトルが「実存主義はヒューマニズムである」で取り上げたエピソードに触れています。この具体例と関連づけながら、筆者が述べる「自己決定」と「責任」の関係について説明して下さい（200字以内）。

(2) 筆者は、自由とは、責任と結びついた自己決定として何よりも理解すべきであり、こうした自己決定を可能にするには選択可能性がなければならないと述べています。では、このような意味で「自由」を実現するために、社会はこれまでどのような環境を整え、またこれからどのような環境をつくる必要があるのでしょうか。家族、教育、労働、福祉、文化政策などいずれの分野でもかまいません、日本かフランスのいずれかで取り組まれた具体例をあげながら、自由に論じて下さい（800字以内）。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

＜外国語学部 ドイツ学科＞

下の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

グーテンベルク

日本には、丸善が一九八七年に五三九万ドル(当時七億八〇〇〇万円)で落札し、その後、慶應義塾大学が購入した聖書がある。グーテンベルクが一四五五年完成させた、世にいう『四十二行聖書』である。グーテンベルクといえば、ヨーロッパに中世から近代へと時代の変革をもたらした三大発明のひとつである活版印刷術を発明した者として有名である。

グーテンベルクはマインツに一四〇〇年前後に生まれ、一四六八年同地で没した。正確な生年がわからないだけでなく、かれの人生には不明な点が多々ある。だが、かれが発明した活版印刷術が世に与えた影響力の大きさだけはまぎれもない。活版印刷術が発明される以前、書物はすべて筆写生の手で写されていた。当然、写し損じもあれば、(a) しい的な書き換えもあり、まったく同一の書物は存在していなかった。活版印刷術によって書物の大量生産が可能となり、知識の共有も容易となって、コミュニケーション革命がもたらされた。活版印刷は、まちがいがなく、人類への最大級の贈り物であった。

グーテンベルクは活版印刷術を用いてカレンダーを最初に製作し、その後ラテン語の教本を製作した。共同出資者のヨハン・フストから莫大な借金をして始めた印刷事業だったため、確実に利益が見込めるものから印刷を始めなければならなかったのである。活版印刷には、活字、印刷機、インク、(b) しょくじなどの準備や、複雑な技術が必要で、実際に書物を販売して利益を得るまでには、かなりの時間がかかった。また、出版には、あらかじめ顧客を確保するための宣伝活動も必要であった。もちろん、グーテンベルクはそれを一人でおこなったのではなく、多くの人を雇ってもいた。かれは書物の流通に資本主義的な近代的経済システムも導入したのである。

グーテンベルクは自らの活版印刷技術に対する自信を深めたところで、聖書の印刷に取りかかった。それが、世界で最も美しい本のひとつといわれている、『四十二行聖書』である。ところが、完成を間近にしてフストに足元をすくわれる。借金の返済が期日どおりにおこなわれていないと訴えられ、(c) はいそしたのである。その結果、グーテンベルクは印刷機器だけではなく、印刷が完了していた『聖書』をもフストに渡さなければならなかった。その後、工房はフストらが共同経営し、グーテンベルクは、手元に残された、小規模な印刷所で印刷業務を続けることになった。

宗教改革

活版印刷術は同じ書物、印刷物を一度に大量につくり出すことができ、遠方まで同じ情報を伝える力をもち、いわば人と人とをつなげる力をもっていた。しかし、逆に、当時のキリスト教世界ヨーロッパに決定的な分裂をもたらす運動、すなわち宗教改革を担うことにもなった。印刷術はカトリック教会の(d) きばんを大きく揺さぶり、キリスト教によって統一されていた西ヨーロッパは分裂するにいたる。

ルター(1483-1546)が一五一七年にヴィッテンベルクで宗教改革のろしをあげてから、一五二一年までには、ルターの著作は五〇万部が流通していたようであった。聖書の翻訳版は一五二三年には五〇〇〇部、その一五年後には二〇万部が刷られた。活版印刷術が発明されなければ、このようにルターの思想が短期間に普及することは不可能であった。プロテスタント側が積極的に布教を目的として印刷術を活用したのに対し、カトリックは新版の聖書を認めず、禁書目録を作成して、信徒の読書に制限を加え

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 ドイツ学科>

た。プロテスタントがカトリックよりも近代化の推進に貢献したといわれるゆえんである。

また、典礼や教会法に関する文書の複製は、活版印刷術の発明を境に、聖職者による筆写から世俗商人による利潤追求型の活版印刷へと移っていった。これにより、国家権力がローマ教皇の支配から脱することもできた。印刷術の情報伝達の力は、皮肉にも西ヨーロッパの分裂をもたらすとともに、新しい国家感情の芽生えをうながし、ヨーロッパの「近代」の誕生を用意したのである。

焚書

①「本が焼かれるところでは、最後には人間も焼かれる」とは、ドイツの詩人ハインリヒ・ハイネ(1797-1856)の言葉である。一九三三年ベルリンの「焚書広場」(現在のベーベル広場)では、ナチスによって「非ドイツ的」とされた二万五〇〇〇冊もの書物が突撃隊によって焼かれた。その広場には四万人もの群衆が押しかけて焚書の儀式に酔い痴れた。ハイネの予言は不幸にも的中し、ナチスが後に六〇〇万人ともいわれるユダヤ人をガス室で殺害し、焼いたことは知られている。

ブックフェア

②ドイツでは五〇〇年以上の伝統をもつ書籍見本市が、毎年一〇月にフランクフルトで開催されている。フランクフルトはグーテンベルクが活版印刷を創始したマインツからは数キロしか離れておらず、ここでグーテンベルクと一緒に印刷業を営んでいたフストやペーター・シェッファーなどが見本市で出版物を展示したのが、その始まりといわれている。この見本市は一七世紀後半までヨーロッパ最大のものであったが、(e) けいもう主義の時代にはライプツィヒにその座を譲り渡した。この見本市は、第二次世界大戦後、ドイツが東西に分かれたため、再び催されることとなった。二〇一〇年以降は、毎年世界各国から二八万人近くの関係者が訪れ、出版社や書店関係者などが、著作権などに関して交渉をおこなっている。この見本市では一九八六年から、特定の国や地方をその年のテーマとして定め、朗読会などのイベントをおこなっている。また、二〇〇七年から、ドイツ・コスプレ大会もおこなわれ、多くの若者が日本のマンガのキャラクターに扮し、衣装の出来映えなどを競っている。

現在ドイツでは、フランクフルトと並んで、毎年三月にライプツィヒでも大きな書籍見本市が開催されている。この見本市の特徴は、フランクフルトとは異なり、一般人を対象としており、多くの人々が作者と触れ合える場が設けられていることにある。また、ここでは一九六三年以来、「世界で最も美しい本」コンテストがおこなわれ、「金の活字賞」が授与される。二〇一三年度には三二の国や地域から五七五冊もの本が出品された。この賞は、ドイツでものづくりに対する情熱が現在も非常に強いことを表しているといえよう。

出典：畠山寛「書物——ヨーロッパを分裂させ、結びつけた発明」『世界文化シリーズ④ ドイツ文化 55のキーワード』ミネルヴァ書房 2015年。(一部改変)

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

＜外国語学部 ドイツ学科＞

〔設 問〕

1. 下線部 (a) ～ (e) のひらがなを漢字に直しなさい。
2. 下線部①のハインリヒ・ハイネの言葉が意味する内容をふまえながら、学問や思想の弾圧にかんするあなたの見解を 400 文字以内で述べなさい。
3. 下線部②にかんして、ドイツの書籍見本市の役割について 100 文字以内で説明しなさい。
4. 本文の内容全体をふまえ、書物が中世以降現在に至るまでヨーロッパで果たした役割について 500 文字以内で要約しなさい。

二〇二五年度南山大学総合型入試「資格・検定試験活用型」問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点 (二〇二四年一〇月一九日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

試験問題：次の「文章」を読み、「設問」の問いに答えなさい。

「文章」

世界の分断と対立が東アジアに影を落とす中、中国とどのような関係を築いていくのか。日本社会に突きつけられた問いだ。日中両国は イ 年の八月一二日、平和友好条約を締結した。紛争を平和的手段で解決し、武力や威嚇に訴えないと誓い合った。

現状はどうだろうか。沖縄県・尖閣諸島周辺では中国海警局の公船による領海侵入が相次ぐ。領空侵犯の恐れがある外国機に対する航空自衛隊の緊急発進（スクランブル）は二〇二三年度に六六九回あったが、うち七割を中国機が占めた。近年は偵察型無人機の活動も日本周辺で活発化している。中国の威圧的な対応はこれだけではない。国家機密の窃取や提供などを禁じる反スパイ法が四年に施行された後、少なくとも一七人の日本人が拘束された。今も五人が帰国できないままだ。

◇急速に進む抑止力強化

(ア) 南シナ海や台湾海峡周辺でも、中国は力による現状変更の試みを続けている。これに対し、日本は七月、南シナ海での領有権を巡って中国と対立する (イ) フィリピンとの間で安保協力を強化する「円滑化協定」に署名した。南西諸島では「(ウ) 台湾有事」を念頭に防衛拠点の整備を進める。

日本は中国の行動をけん制するため、米国や周辺国との連携を強化し、抑止力を高めている。一方で、中国から見ると、日米比の連携強化や (エ) 「クアッド」(四カ国戦略対話) などの枠組み整備は自国に対する包囲網に映る。外国勢力によって政権や領土が脅かされることを過度に警戒しており、抑止力の強化だけではかえって緊張に拍車をかけてしまう。中国との関係を安定化させるには、対話を通じて信頼醸成を図ることも求められる。

米国は中国との対立が長期化しても、重要関係が相互に訪問し、首脳間の対話も維持している。日本の取り組みは十分ではない。国民の対中感情が悪化する中、政治家は「媚中派（びちゅうは）」のレッテルを貼られることを恐れ、関係改善の取り組みに尻込みしがちだ。七月には武蔵敬三厚生労働相や自民党の森山裕総務会長らが相次いで訪中した。だが、昨秋の首脳会談で再確認した

ロ 関係の包括的な推進に弾みがついたとは言えない。

内閣府が一月に発表した世論調査結果によると、中国に「親しみを感ぜない」との回答は八六・七％と過去最悪となった。それでも日中関係の発展が「重要だと思う」との回答は今も七割近い。若者が他の世代より中国に好印象を抱いている実態も明らかになった。東京大の川島真教授（アジア政治外交史）は「若者は学校で中国人や中国系の人々と接する機会が多く、中国のゲームや商品に親しんでいる。日本に移り住む人も増えており、今後、周囲にいるのが当たり前になるだろう。こうした変化が将来の日中関係を支えるのか注目される」と語る。

◇重層的な対話と交流を

出入国在留管理庁によると、一三年末時点の在留外国人は約三四一万人で、うち中国人は約八二万人（前年同期比七・九％増）と四分の一近くを占めた。永住者は約三三万人、技術者や研究者な

二〇二五年度南山大学総合型入試「資格・検定試験活用型」問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点

(二〇二四年一〇月一九日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

どの高度専門職は一万五七五七人で、いずれも国・地域別で最多だ。^(E)背景には、中国の統制強化や経済政策に失望した人々が国外に脱出する動きがある。富裕層や高学歴の人が教育環境などを考慮し、日本を選択するケースも増えているようだ。

そうした変化を象徴するのが、昨年八月に東京・銀座にオープンした「単向街書店」だ。中国人作家の許知遠さんが北京で創設し、エリート層に人気のある独立系書店の海外一号店である。日本人作家の作品の中国語訳が並び、週末にはトークイベントが開催される。許さんとともに共同代表を務める松本綾さんは「中国のことを知ろうとする日本人の来店も増えている。文化交流の場として発展させたい」と意欲的だ。

日本に移住する中国人の急増やコミュニティーの形成で摩擦が生まれる懸念はあるが、重層的な対話と交流で相互理解を深める意義は大きい。日中両国には急速に進む少子高齢化や気候変動といった共通の課題も多く、解決の道筋をつけることは互いの利益になる。^(E)両国の政治指導者は対立が深まらないようにリスクを管理し、関係改善を東アジアの安定につなげるべきだ。

〔文章、ここまで〕

〔文章〕は、二〇二四年八月一二日付毎日新聞「社説： 24平和考 日中関係の将来像 互恵を安定につなげたい」より一部改変のうえ引用)

二〇二五年度南山大学総合型入試「資格・検定試験活用型」問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点 (二〇二四年一〇月一九日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

【設問】

問一 に入る西暦年の数字を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) 一九四九

(b) 一九七一

(c) 一九七八

(d) 一九八九

問二 傍線部 (A) に関連して、南シナ海に面していない東南アジアの国家を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) ベトナム

(b) インドネシア

(c) ミャンマー

(d) ブルネイ

問三 傍線部 (B) に関連して、フィリピンの首都の名称を答えなさい。

問四 傍線部 (C) に関連して、現在の台湾の総統を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) 蔡英文

(b) 賴清徳

(c) 馬英九

(d) 李登輝

問五 傍線部 (D) に関連して、クアットの構成国ではない国家を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) 日本

(b) オーストラリア

(c) シンガポール

(d) インド

問六 に入る二〇〇六年の安倍晋三首相の訪中の際に日中両国で合意され、今日までに至る日中関係の基本方針となった概念を、漢字五文字で答えなさい。

問七 傍線部 (E) に関連して、近年の中国社会の問題について、具体的な例をあげて、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

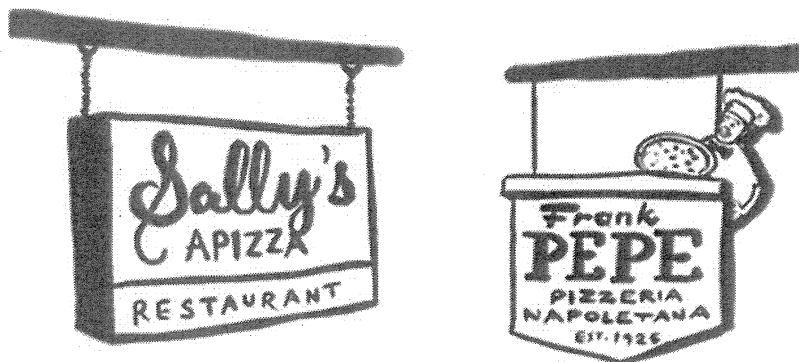
問八 傍線部 (F) に関連して、日中関係の関係改善を東アジアの安定につなげるにはどのようにしたらよいか、具体的な例をあげて、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

【設問 ここまで】

＜経営学部 経営学科＞

一定の原則にのっとった交渉の手法について書かれた、次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

私はコネチカット州ニューヘイブン在住・在勤だ。ニューヘイブンといえば、イエール大学はもとより、ピザで有名な街でもある。サリーズ（Sally's）一筋の者もいれば、フランク・ペペ（Frank PEPE）をひいきにする者もいるが、両店の行列を見るかぎり、入るのはイエール大学よりよっぽど難しそうだ。人気の理由は、店のぜっぴん① クラムピザ〔アサリのピザ〕にある。一部の読者を敵に回す覚悟で、フランク・ペペのパイをめぐる交渉を例に取ってみよう。



アリスとボブは、ピザの分け方で合意すれば、フランク・ペペから12枚切りのピザをまるまるもらえる。合意に至らなかった場合でも、ピザはもらえるが、量は半分に減り、しかも取り分には偏りがあって、アリスが4枚、ボブが2枚になる。

よって、合意形成のインセンティブ②(a)は十分にある。問題は、両者にとって有効な取引は何通りもあり、その一部はアリスあるいはボブにとって有利なものになる、という点だ。それでも、なんらかの分け方を選ぶしかない。ほとんどの人は、ふたりの交渉方法について、次の2通りの視点のどちらかを採用する。

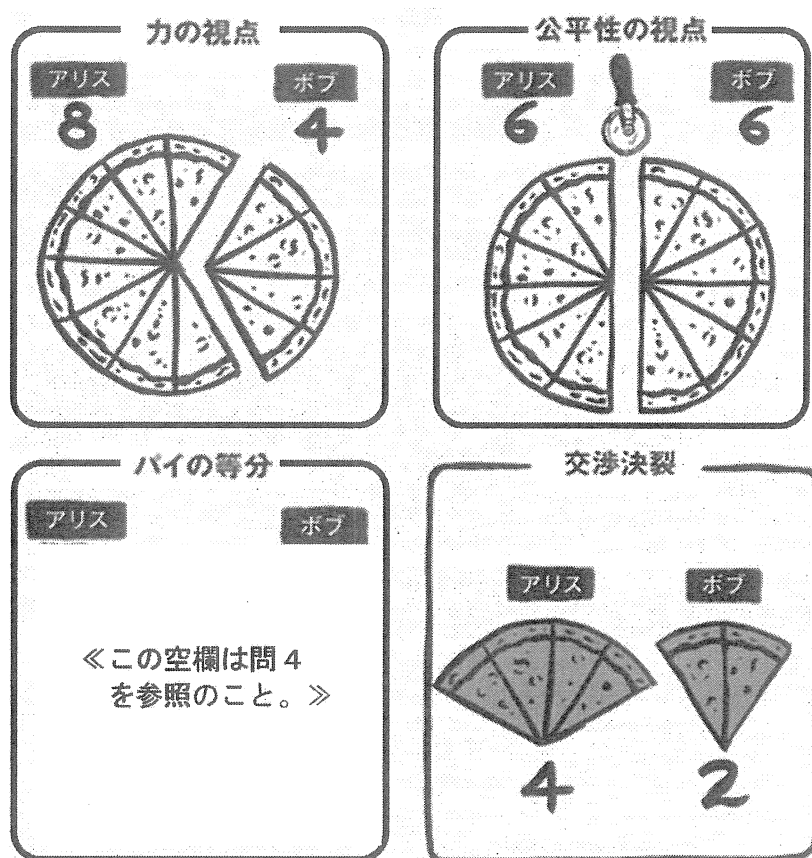
ひとつ目は、力の視点だ。最初の時点で、アリスのほうが力は上だ。決裂時の取り分は、アリスが4枚で、ボブの2倍にもなる。よって、アリスはボブの2倍の枚数を受け取る権利があり、アリスが8枚、ボブが4枚になる、という考え方だ。

ふたつ目は、公平性の視点だ。それぞれの最終的な取り分に着目したもので、この場合、ピザを半分ずつ山分けすることになる。つまり、アリスが6枚、ボブも6枚だ。

しかし、これとは別の、もっと論理的なピザの分け方がある。なぜ論理的かという点、この交渉の真の争点に着目しているからだ。それは、ふたりが合意することで生み出される、6枚の余分なピザである。もし合意に至らなければ、ふたりは合計(a)___+(b)___=6枚のピザしか受け取れない。一方、合意に至れば、合計12枚が受け取れる。この6枚から12枚への増加分が、合意を結ぶことの価値と見ていい。つまり、この6枚の増加分こそが交渉の争点、つまり私が「交渉のパイ③(i)」と呼んでいるものなのだ。この追加の6枚を受け取るためには、アリスとボブの力が等しく必要だ。彼らの力は等しいわけだから、6枚は均等に分割されるべきである。

(A) これに加えて、それぞれがもともとの取り分を受け取ると、全体でアリスが(c)___+(d)___=(e)___枚、ボブが(f)___+(g)___=(h)___枚となる（次図）。

＜経営学部 経営学科＞



おかしいことを言うようだが、ほとんどの人は、交渉の真の争点を誤解し、①____枚ではなく②____枚をめぐる交渉を始めてしまう。交渉の対象となるパイではなく、ピザ全体に着目してしまうのだ。この交渉のパイという考え方は、一見するとじめいのり③に思える。パイの視点から交渉をとらえれば、全体のうち、交渉の対象となる部分を均等に分け合うべきである、という結論になるのが自然なのだ。私がみなさんにぜひ納得してほしいと思っているのは、この結論だ。そして、ほかの人々をこの結論に納得させるためのツール④も、のちほど紹介しようと思う。

まずは、これまでの考え方のどこがおかしいのかを説明したい。力の視点では、交渉の外部の力関係と、内部の力関係を混同してしまっている、というのが私の考えだ。なぜ総額や総量を、決裂時の取り分に比例する形で分配する必要があるのだろうか？ 交渉をしているのはアリスとボブなのだ。⑤____枚対 ⑥____枚という分け方は、決裂時のそれぞれの取り分に比例しているので、一見すると合理的なようだが、取り分をその比率と同じにしなければならない、という本質的な理由はないはずだ。

比例分配の議論の欠点は、別のシナリオを考えてみるとわかりやすい。たとえば、交渉決裂時、ボブがピザ皮のくずしかもらえないとしたら、どうなるだろうか。この場合、決裂時の取り分の比率に応じて忠実に比例分配しようとする、その比率はとてつもなく巨大になってしまう（無限大に近づく）。つまり、アリスが ⑦を受け取ることになるのだ。

＜経営学部 経営学科＞

交渉決裂時、アリスの4枚に対してボブは2枚しか受け取れないので、ボブのほう交渉において弱い立場にある、という主張もあるだろう。しかしこの主張は、交渉の本質を見誤っている。交渉が決裂すれば、ボブが2枚より多く受け取れなくなるのと同じで、アリスもまた4枚より多く受け取れなくなる。しかし、決裂時の取り分を上回ってこそ、交渉は成功と呼べるはずだ。そのためには、アリスとボブの力が等しく必要なので、ふたりの立場は対等なのだ。

ふたつ目の手法、つまり全体を等分するというのは、公平性をあまりにも単純化してとらえている。12枚を分けるに当たって、アリスとボブの立場は対等ではない。アリスのほう交渉決裂時の取り分が多いからだ。6枚ずつという分け方が本当に公平だとしたら、交渉決裂時の両者の取り分が何枚であれ成り立つはずだ。しかし、そうはならない。たとえば、

はずだ。(c) 交渉決裂時の取り分が4枚と2枚だったときは、この均等な分け方のけっかん⑧は必ずしも見えないが、公平性を担保するためのルール⑨としては、全体を2等分するという戦略には、根本的なけっかん⑧があるのがわかる。

全体を分け合うというのは、ありがちな失敗だ。たとえば、交渉決裂時のアリスとボブの取り分をランダム⑩に割り当てて、ふたりに交渉させたら、どうなると思うだろう？ 実際にそんな実験を行なったのが、ネジャット・アンバルジとニック・フェルトヴィッチのふたりだ。交渉決裂時の取り分が全体の半分に満たない場合、両者が全体を等分するケースは42パーセントもあった。合意を拒否すればどちらも損をするので、一見すると公平な分け方に思える。ところが、交渉決裂時の取り分が全体の半分以上を超えたとき、全体の等分が選ばれるケースは8パーセントを切った。

いったい何が起きているのか？ 双方とも、公平そうに見える解決策をもさく⑪していたのだ。問題は、交渉のパイが (m)___ - ((n)___ + (o)___) = 6枚だと気づかず、最終的に的外れなパイを分け合ってしまった、という点だ。6枚ではなく、12枚を分け合ったのだ。公平性を意識するのはよいことだが、公平に分け合うべきなのは全体ではなく、交渉の対象となるパイのほうだ。6枚の交渉のパイに関していえば、アリスとボブは完璧に対称的であり、立場は等しく、同じくらい必要不可欠なはず。よって、交渉のパイを均等に分け合うのが公平なのだ。

パイの視点のもとでは、6枚の交渉のパイは3枚ずつ分け合うことになる。お互いが交渉決裂時の取り分とパイの半分を受け取るので、アリスが (o)___ + (d)___ = (e)___枚、ボブが (d)___ + (e)___ = (n)___枚になるりくつ⑫だ。

交渉のパイを分け合うのは、単なる公平性の問題ではない。アリスとボブの力は等しい。アリスが等分に同意しなければ、交渉のパイは消えてしまう。まったく同じことがボブにもいえる。つまり、6枚という交渉のパイを生み出すのに、ふたりのうちの一方がより大きくこうけん⑬している、などとはいえないわけだ。お互いのもともとの取り分を上回る価値を生み出すことを目的とした交渉の内部では、ふたりの立場は完全に対称的だ。交渉決裂時の取り分が等しくないことから明らかなように、この交渉の外部では、確かに両者の力関係には差がある。しかし、そのことは、交渉のパイの分配方法とはなんの関係もないのだ。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕（第2次審査）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年10月19日実施）

<経営学部 経営学科>

これで、秘密の交渉のレシピが理解できたと思う。少なくともあとから見れば、ピザの例で紹介した手法は、ウソみたいに単純に見えるかもしれない。この手法を、より複雑な実世界の問題に応用する際には、このピザの例がすべての土台になる。

以後、本書で「パイ」という用語を使うときには、常に「交渉の対象となるパイ」を指すことにする。重要なのはそのパイだからだ。先ほど述べたとおり、交渉で難しいのは、そのパイを正確に計算する、という部分だ。毎回、ピザの例ほど一筋縄でいくわけではない。ときには、相手と協力してパイを見つけ出す必要もあるだろう。パイの見極めは、パイの半分をかくとくするうえでの鍵になる。そして、いったんパイの分配の問題が解決すれば、一緒にパイを広げることに専念できるのだ。

さっそく、始めよう。

次の例や本書全体で見ていくように、ある文脈では公平に思える比例分配が、別の文脈になるとたちまち破綻をきたしてしまうことがある。これは比例分配だけの問題ではない。全体を等分するという方法もまた、すぐに破綻してしまう。パイの等分だけが、しゅびいっかんした唯一の公平な手法なのだ。

いま、兄のバラトと妹のアンジュが、自分の資金を単独で投資するか、それとも、両者が協力して共同で投資するのが得策なのかを考えているとしよう。バラトは投資の元本として2万ドルを持っており、1年ものの定期預金を組めば、2パーセントの利息が得られる。アンジュは元本が5000ドルで1年ものの定期預金を組むつもりだったが、元本がバラトより少ないため、銀行が提示する金利はたったの1パーセントである。そこで、お互いの資金を一本化して投資をするのが賢明だ、ということですぐに意見が一致した。インターネットで少し検索をした結果、2万5000ドルの定期預金を組めば、金利が3パーセントに上昇することを知った（次表）。

	投資額	金 利	利 息
アンジュ	5000ドル	1%	50ドル
バラト	2万ドル	2%	400ドル
アンジュとバラト	2万5000ドル	3%	750ドル

ここまでは順調。問題は、資金を一本化した場合の利息750ドルについて、アンジュとバラトのあいだでの分配方法だ。

出典：〔原典〕SPLIT THE PIE by Barry Nalebuff

Copyright (c) Barry Nalebuff 2022

Permission from Barry Nalebuff c/o Levine Greenberg Rostan Literary Agency arranged through The English Agency (Japan) Ltd.

出典：バリー・ネイルバフ『パイを賢く分ける：イェール大学式交渉術』早川書房（千葉敏生訳、

2023年）およびその原書（Barry Nalebuff 著、Harper Business 社、2022年）の

「第1章 ピザ」、「第3章 パイ」より抜粋。ただし、表記を一部改めている。

出典：Illustrations: "Sally's Pizza and Frank PEPE", cut pizzas from Split the Pie by Barry Nalebuff. Copyright (c) 2022 by Barry Nalebuff. Used by permission of HarperCollins Publishers.

<経営学部 経営学科>

設問 （解答はすべて解答紙の所定の欄に記入すること。）

問1 下線部①②③④⑤⑥⑦⑧のひらがなを漢字に直しなさい。

問2 下線部(あ)(い)(う)(え)(お)(か)のカタカナ語を英語に直しなさい（アルファベット小文字で）。

問3 下線部(a)(b)(c)(d)(e)(f)(g)(h)(i)(j)(k)(l)(m)(n)(o)の空欄__には整数値が入る。各々の空欄を適切な整数値で埋めなさい。

問4 本文中の図のなかの「パイの等分」の空欄に入る適切なイラストを描きなさい。

問5 括弧 $\square$ 彼らの力は等しいわけだから、6枚は均等に分割されるべきである。 $\square$ (A) について、この日本語文を表す英文になるように、Because に続けて、以下の【 】内の英単語を並べ替えなさい。ただし、全部の単語を1回ずつ使うこと。また、必要に応じてカンマ（,）も使用すること。

Because 【 be equal equally split power have should slices they the 6 】.

問6 括弧 $\square$ (B) に入る適切なものを考えて、2～10文字で埋めなさい。

問7 括弧 $\square$ たとえば、 $\square$ はずだ。 $\square$ (C) には、以下の英文を日本語訳した文が入る。この英文を日本語に訳しなさい。

Look what happens if Alice's fallback option rises to 7 slices, while Bob's remains at 2 slices. If fairness means a 6:6 split, Alice would reject it. She'd rather keep her fallback of 7 slices than accept 6.

（注） fallback option — 交渉決裂時の取り分。

問8 アンジュとバートで利息750ドルを分配するとする。投資額に比例して分配する「力の視点」に基づく場合と「公平性の視点」に基づく場合にわけ、本文の内容に即し、分配額を説明しなさい。（100～150文字）

問9 利息750ドルを「パイの等分」の原則に基づいて分配するとどうなるか、本文の内容に即し、分配額を説明しなさい。また、問8の「力の視点」の場合の分配額と比較しなさい。（100～150文字）

問10 兄のバートは問8の「力の視点」に基づいた分配を提案しようとしたが、妹のアンジュは問9の「パイの等分」による分配を要求したかった（兄の提案の分配と比べると、わずかな得にすぎないが）。そこでアンジュは、自分の要求の正当性を証明して兄を説得するために、次のように言った。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕（第2次審査）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年10月19日実施）

＜経営学部 経営学科＞

（問10の問題文の続き）

「ねえ、バラト、仮に2万5000ドルの場合の金利が、2万ドルのときと同じ2パーセントだと仮定してみて。それでも共同で投資する意味はある。利息が50ドル増えるから（次表）。あなたの提案しようとしている方法だと、でしよう。でだからこの場合、私が主張するとおりに利息50ドルは均等に分け合うべきじゃない？」

	投資額	金 利	利 息
アンジュ	5000ドル	1%	50ドル
バラト	2万ドル	2%	400ドル
アンジュとバラト	2万5000ドル	2%	500ドル

この説得を聞いてバラトはアンジュに論破され、問9の「パイの等分」の原則に基づいて分配することを受け入れたのだった。では、上の会話のなかの括弧 においてアンジュはどのような主旨のことを言ったか。あなたの考えを書きなさい。また、これを聞いてバラトは問8の「力の視点」に基づく分配がどのような意味で正しくないことに気づいたのか。説明しなさい。（200文字以内）

（設問はここまで）



南山大学

入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)

Fax 052-832-3592

nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

2025年度
南山大学

総合型入試
[プレゼンテーション型]
問題集

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

総合政策学科	1
国際教養学科	6
理工学部	11

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型] (第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<総合政策学部 総合政策学科>

以下の記事(3点)と図表(3点)を参照し、2つの問いに答えなさい。

【記事1】

世界の難民・国内避難1億2000万人 4月末 紛争続き10年で倍増

【イスタンブール＝渡辺夏奈】国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)は13日、紛争や迫害により国外に逃れた難民や国内で避難を続ける人々の合計が4月末、1億2千万人を超えたと発表した。日本の人口とほぼ同じ規模で、10年前と比べ2倍に増えた。世界各地で紛争が続き、故郷を追われる人が絶えない。

国連が定める「世界難民の日」(6月20日)に先立ち、報告書をまとめた。様々な理由で国内外への避難を余儀なくされた人を集計している。人数は右肩上がりに増え続けており、昨年末時点と比べても2%以上増えた。

直近ではスーダンで多くの人が故郷を追われた。2023年4月に軍と準軍事組織の間で戦闘が始まり、国内のほか、中央アフリカやチャドといった近隣国に避難する人が出た。同年10月に始まったパレスチナ自治区ガザでのイスラエルとイスラム組織ハマスの衝突も大きな影響があった。

中長期ではアフガニスタンやシリアなど、長く紛争や政情不安が続く国や地域で国内外に避難する人が増えた。ミャンマーでも21年に軍事クーデターが発生し、イスラム系少数民族ロヒンギヤの迫害などが目立つ。

10日、グランディ難民高等弁務官は記者会見で「戦闘はあらゆる場所で国際人道法を完全に無視し、時に人々に恐怖を与える目的をもって行われている」と危機感をあらわにした。

(出典) 日本経済新聞 2024年6月14日 朝刊 13ページ

日経の許諾を得ています 無断で複写・転載を禁じます

【記事2】

水際対策で済まぬ難民問題(社説)

欧州で移民・難民の受け入れを厳しくする動きが相次いでいる。水際で追い返される人が増え、必要とする保護を受けられなくなる事態を憂える。

欧州連合(EU)欧州議会は4月、難民申請が認められない人の送還を迅速にする新制度を決めた。英国は不法移民をアフリカのルワンダに強制移送する法律を成立させた。

秩序だった受け入れはもちろん重要だ。アフリカから対岸の欧州へ小型ボートで密航し、転覆する悲劇は受け入れがたい。こうして地中海で死亡または行方不明になった人は2023年に3千人を超え18年以降で最悪になった。英仏海峡をボートで渡る不法移民は22年、4万5千人を上回った。

英国では不法移民に対応する財政負担が問題になっていた。EUにとっては加盟国の公平な分担がかねて課題だ。しかし新たな策が、危険な密航を思いとどまらせる抑止力になるのだろうか。

背景に欧州の政治日程がちらつくのは気がかりだ。6月の欧州議会選で「反移民」の極右の躍進が予想されるなか、現在多数派の中道勢力が対応を迫られたとの見方がある。英国のスナク政権は7月4日に設定した総選挙で、不法移民対策を実績として訴えようとしている。

(次ページへ続く)

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型] (第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<総合政策学部 総合政策学科>

門前払いだけで移民・難民問題は解決しない。アフリカや中東などで暮らせないと感じる人を減らさなければ、豊かで安全な欧州を目指す流れは止まらない。サハラ砂漠以南のサヘル地域では武装集団の暗躍で治安が悪化し、スーダンの武力衝突は泥沼化している。

紛争や政情不安、貧困といった難民をうむ原因に対処しなければならない。食糧難や干ばつなど気候変動の影響も無視できない。移民・難民を押し出す側の地域を安定させ、豊かにする息の長い取り組みが必要だ。

それを手助けする力を欧州をはじめ先進国は持っている。日本も資金拠出や開発支援、国際機関との協力で活躍する機会が多い

(出典) 日本経済新聞 2024年5月27日 朝刊 2ページ

日経の許諾を得ています 無断で複写・転載を禁じます

【記事3】

改正入管法が施行 難民申請3回目以降、強制送還対象に

難民認定の申請中でも強制送還できるようにする改正出入国管理法が10日、施行した。申請手続き中は送還を停止する従来の規定を改めた。3回目以降の難民申請者が「相当の理由のある資料」を提出しなければ強制送還の手続きに入る。

「相当の理由」には紛争の発生など本国の情勢に変化があったなどが挙げられる。提出の様式に定めはなく口頭の説明でもよい。

在留資格を失った外国人が難民申請を繰り返して送還を逃れようとする例が相次いでいることに対応する。

法務省によると、国外への退去が確定しても出国を拒む「送還忌避者」は2022年末時点で4233人に達した。21年末の3224人のうち、およそ半数が難民認定の申請者だった。

審査にかかる時間が長期化すると、本来保護すべき人を迅速に救済できなくなる。10年に難民認定の申請者向けに申請から半年後に就労を認める運用を始めたため、就労目的とみられる申請が急増した。17年の申請はおよそ2万件にのぼった。

その後は一律に就労を認める運用をやめ、18年に明らかに難民に該当しない理由で申請を出した場合に在留資格を制限する運用に改めていた。

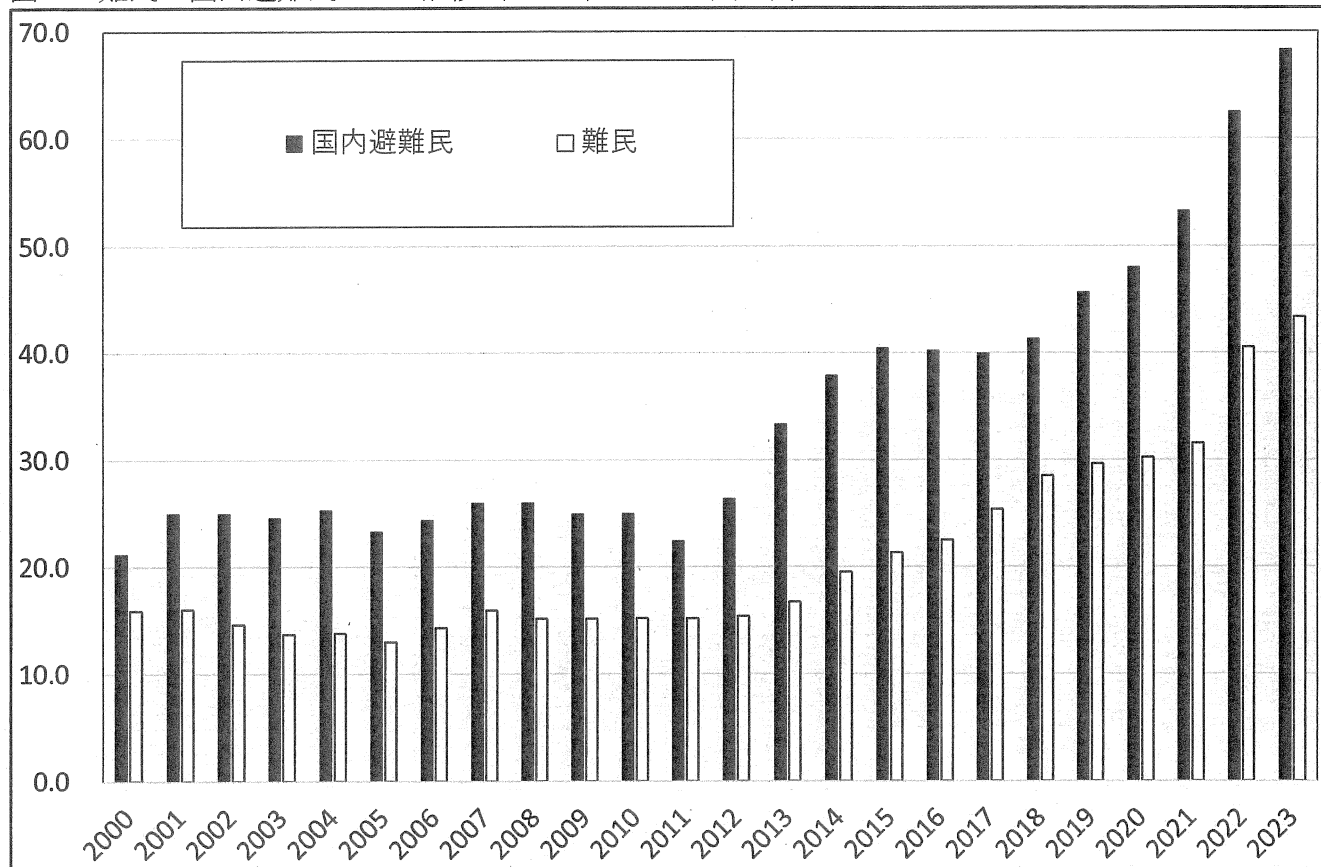
かねて日本は難民受け入れの少なさを指摘されてきた。23年は8184人分の申請を処理し、難民と認定したのは3.5%の289人ととどまった。不認定後の再請求で認められたのは14件にすぎない。

日本は1981年に難民条約に加入した。日本弁護士連合会は22年9月、政府が難民条約の「国際的な解釈基準から乖離(かいり)して、行政・司法が極めて限定的な独自の解釈を用いている」との意見書を出した。

そもそもの認定基準が厳しいことに加え、申請中の強制送還が可能になれば、母国で迫害の対象となる恐れのある人を保護できなくなるとの指摘もある。

(出典) 日本経済新聞 2024年6月11日 朝刊 4ページ 日経の許諾を得ています 無断で複写・転載を禁じます

図1 難民・国内避難民^(注)の推移 (2000年～2023年、単位：100万人)



出典：国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のデータベース “Refugee Data Finder” より
(<https://www.unhcr.org/refugee-statistics/>) 作成。

注：難民(Refugees)とは、「紛争に巻き込まれたり、宗教や人種、政治的意見といった様々な理由で迫害を受けるなど、生命の安全を脅かされ、国境を越えて他国に逃れなければならなかった人々のこと」、国内避難民(Internally Displaced Persons)とは、同様に故郷から逃れることを強いられたが、「国境を越えていないことから、国際条約で難民として保護されない人々のこと」(国連 UNHCR 協会のウェブサイト「難民について」(<https://www.japanforunhcr.org/refugee-facts/what-is-a-refugee/>))

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型] (第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<総合政策学部 総合政策学科>

表1 難民の主な出身国と受入国 (2013年、2023年、単位：1万人)

主な出身国				主な受入国			
2013年		2023年		2013年		2023年	
アフガニスタン	255.6	アフガニスタン	640.3	パキスタン	161.7	イラン	376.5
シリア	246.8	シリア	635.6	イラン	85.7	トルコ	325.1
ソマリア	112.2	ベネズエラ	610.3	レバノン	85.7	コロンビア	285.3
スーダン	64.9	ウクライナ	596.0	ヨルダン	64.2	ドイツ	259.3
コンゴ民主共和国	50.0	南スーダン	229.2	トルコ	61.0	パキスタン	198.8
ミャンマー	48.0	スーダン	149.7	ケニア	53.5	ウガンダ	157.7
イラク	40.1	ミャンマー	128.3	チャド	43.4	ロシア	123.0
				(参考)			
				イギリス	12.6	イギリス	44.9
				日本	0.3	日本	2.2

出典：図1に同じ。

表2 国内避難民の主な発生国 (2013年、2018年、2023年、単位：1万人)

2013年		2018年		2023年	
シリア	650.0	シリア	611.9	スーダン	905.3
コロンビア	570.0	コロンビア	576.1	シリア	724.8
ナイジェリア	330.0	コンゴ民主共和国	308.1	コンゴ民主共和国	673.4
コンゴ民主共和国	296.4	ソマリア	264.8	コロンビア	507.7
スーダン	242.7	アフガニスタン	259.8	イエメン	451.6
イラク	210.0	イエメン	232.4	アフガニスタン	418.7
ソマリア	110.0	ナイジェリア	221.6	ソマリア	386.2
トルコ	95.4	エチオピア	213.7	ウクライナ	368.9
中央アフリカ共和国	93.5	スーダン	207.2	ナイジェリア	334.0
パキスタン	74.7	イラク	196.2	エチオピア	285.2

出典：図1に同じ。

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型] (第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

＜総合政策学部 総合政策学科＞

問1

記事1で紹介されている統計の出所である UNHCR のデータベースにあたり、「難民」「国内避難民」についての図1を作成した。作成した図1からどのような特徴や変化を読み取ることができるか。全体としての特徴と変化、および「難民」と「国内避難民」それぞれの変化につき、表1と表2も参照して変化の背景にも触れつつ、具体的に説明しなさい。(500字～600字)

問2

難民に関する問1で検討した近年の変化を前提に、日本での難民受け入れはどのような方向へ進むべきと考えるか。記事2、記事3、表1に示されている欧州や日本の状況を検討し、また日本社会の現状についても触れつつ、自分の考えを論述しなさい。(500字～600字)

なお、問1と問2は、同じ原稿用紙1枚のなかに続けて回答せず、別の原稿用紙を用いること。

また、アラビア数字を使う場合には原稿用紙の一マスに2文字まで記してよい(たとえば、「2024」と書く場合には四マスではなく二マス、「135万」と書く場合の「135」は三マスではなく二マス)。

以下の問題【1】～【3】のすべてに答えなさい。

【1】 Read the following article and summarize it in Japanese in no more than 400 characters. Write your answer on Answer Sheet【1】(解答用紙【1】)

A new danger has come to the ocean floor — the practice of deep-sea mining. Multiple companies have invested in extracting rare earth minerals that exist in ball-like structures called “nodules” on the ocean floor. These minerals are used in technologies such as smartphones, electric vehicles, and wind turbines. While they were historically sourced through mining on land, they are becoming more and more rare as the demand is increasing for these products. The first company to apply for permission to mine the sea floor is expected to do so as early as this July. However, many in the scientific community have expressed concern, causing many companies and countries to boycott this industry. Despite the controversy, however, there appear to be no plans to halt the mining.

The deep sea is one of the most extreme, remote, and mysterious ecosystems on Earth. Once deemed lifeless, recent research indicates that this seemingly inhospitable place may actually host amazing levels of biodiversity. Recently, over 5,000 new species were discovered inhabiting the “Clarion-Clipperton Zone” (CCZ), an undersea zone between Mexico and Hawaii, and the main target for seafloor mining. Researchers estimate that 88 to 92 percent of the species living in this area remain undiscovered. Many of these species may have medical benefits for humans and have the potential to help treat cancers, infectious diseases, and even Alzheimer’s. Many species in these deep-sea environments do not exist anywhere else on Earth and the disturbance of one habitat could risk entire species-level extinction events.

The seafloor has never been mined before, and we do not know how much risk mining poses to deep-sea ecosystems. However, researchers have predicted that the impact will be far-reaching. Machinery equipped with powerful floodlights could blind organisms that are adapted to sunless conditions. The noise generated by drilling into the seabed will add to the man-made sound pollution already spreading across the ocean. Disturbing the seabed could disrupt microbial communities that are important in keeping the ocean healthy, which could then have terrible consequences for Mexican and Central American fishermen who rely on the ocean for their livelihood. Mining these minerals can also generate toxic clouds of dirt capable of traveling vast distances across the ocean, burying coral reefs, and muddying seawater. Scientists are only just beginning to identify these risks — and do not yet understand how to prevent them.

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型] (第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

＜国際教養学部 国際教養学科＞

Given our current lack of understanding of the full impacts of deep-sea mining, proceeding with plans to mine could lead to countless unknown organisms going extinct before we have the chance to discover them. Given this risk, scientists are imploring that companies wait to mine the seabed until the resilience of the ecosystem and risks are better understood. It is not too late to slow this process down and safeguard similar future ocean discoveries.

(<https://globalamericans.org/the-dangers-of-deep-sea-mining-in-the-clarion-clipperton-zone/>)

出典 : The Dangers of Deep-Sea Mining in the Clarion-Clipperton Zone, June 8, 2023, Global Americans

(問題【2】に続く)

【2】 次の文章を読み、その要点を英語(150 words 程度)で解答用紙【2】にまとめなさい。

ほんの 10 年ほど前まで、SNS は民主主義を後押しする存在としてポジティブなイメージに包まれていた。2011 年、私は「アラブの春」(*)と呼ばれる中東の動乱取材していた。エジプトやチュニジアといった現場では、独裁政権の圧政で抑圧されてきたアラブ諸国の市民が SNS を武器に立ち上がるのを、日々目の当たりにした。

発端となった北アフリカのチュニジアで 23 年間続いたベンアリ(*)政権を倒したのは、燎原の火のように広がった抗議デモだった。厳しい検閲と情報統制が敷かれる独裁国家では、こうした政府への抗議デモが報道されることは一切なかった。そんな中、抗議デモの情報の流通を可能にし、人々を結束させたのは、フェイスブックをはじめとするソーシャルメディアだった。人々は各地で起きるデモの動画を拡散し、情報を交換し、お互いを勇気づけながら、大きなうねりに変えていった。

政府に都合の悪い事実が報道されない独裁国家では、ソーシャルメディアは唯一信頼できる情報源だったのだ。
……(中略)……

それから 10 年も経たないうちに、ソーシャルメディアは光よりも影の部分がクローズアップされるようになった。デマやフェイクニュースを拡散させ、社会の分断を誘発し、関心のある情報や似たような考えにしか触れられなくなるフィルターバブル(*)やエコーチェンバー(*)を生み出す存在として。……(中略)……ソーシャルメディア上で収集される大量のデータは私たちの政治志向を分析し、個々人の考えにつけ込むかのような広告やプロパガンダを狙い撃ちして送りつけるのに使われている。さらに、ソーシャルメディアは海外からの選挙干渉すら招いていると糾弾されている。

これらの要素が結果的に民主主義の根幹をなす投票行動に影響を与え、選挙結果を歪める元凶になりかねないと批判されているわけだ。いずれも 2016 年に起きたイギリスの EU 離脱(*)を決めた国民投票(*)とトランプ(*)大統領を生み出したアメリカ大統領選挙は SNS の影の部分を浮き彫りにしたと言っても過言ではない。

ここイギリスで 2019 年 12 月に行われた総選挙では、……(中略)……ディープフェイク(*)、本物そっくりの偽動画が話題となった。ボリス・ジョンソン(*)首相が「分断を乗り越えるため」として対立する野党(*)労働党(*)への投票を呼びかける発言をして、逆に野党党首が与党(*)保守党(*)への投票を呼びかけるディープフェイクが大量に拡散したのだ。ソーシャルメディア、データ、アルゴリズム(*), AI といった技術は日々洗練され、選挙のたびに新しい技術が投入されている。ソーシャルメディアは投票行動への影響を及ぼすばかりか、一部の国では国民を監視するツールとしても利用されている。

いまのソーシャルメディアにかつてのような心躍る輝きはない。何らかの規制が必要だという議論は日増しに強くなっている。本丸とも言えるフェイスブックのザッカーバーグ(*) CEO は数回にわたってアメリカ議会(*)の公聴会(*)に呼ばれ、2019 年 10 月には結果的に誤った情報の拡散に加担しているのではないかと厳しく責任を追及された。

ソーシャルメディアなどを通じて収集されたデータが私たちの利益に反する形で利用されるのを止めることは簡単ではない。そしてインターネット上の政治広告に投入される資金は増加の一途をたどっている。有権者の政治志向を分析し、マイクロターゲティング(*)を使う手法は強化されこそすれ、鈍化することはないだろう。情報の発信・供給側を制御することは困難になる一方だ。

(次ページに続く)

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型] (第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

＜国際教養学部 国際教養学科＞

それでは私たちは、この新しい世界にどう向き合っていけばいいのだろうか。供給側のコントロールが簡単でないのであれば、現実的なのは、情報の受け手のリテラシーを上げることだ。何が政治広告やプロパガンダなのか。なぜ自分のソーシャルメディアのタイムラインに特定の政治メッセージが届いているのか。何が“フェイクニュース”で何が事実なのか。見極めるのは私たち受け手の側にほかならない。

★ 必要に応じて以下の単語を参考にすること。

アラブの春: Arab Spring ベンアリ: Ben Ali フィルターバブル: filter bubble

エコーチェンバー: echo chamber イギリスの EU 離脱: Brexit 国民投票: referendum トランプ: Trump

ディープフェイク: deepfake ボリス・ジョンソン: Boris Johnson 野党: opposition party

労働党: Labour Party 与党: ruling party 保守党: Conservative Party アルゴリズム: algorithm

ザッカーバーグ: Zuckerberg アメリカ議会: U. S. Congress 公聴会: hearing

マイクロターゲティング: microtargeting

出典: NHK 取材班『AI vs. 民主主義 高度化する世論操作の深層』NHK 出版新書、2020 年、pp. 213-216.

(問題【3】に続く)

【3】

【1】または【2】の文章に関して、日本語(400字以内)、または、英語(150 words 程度)のどちらか一方を選択して、自分の意見を論述しなさい。日本語で論述する場合は解答用紙【3-1】を、英語で論述する場合は解答用紙【3-2】を使用しなさい。論述に使用しなかった解答用紙には、受験番号以外、何も書かないでください。

【3】

Write your opinion about the articles in 【1】 or 【2】 in either Japanese (400 characters or less) or English (about 150 words). Use Answer Sheet 【3-1】 if you write in Japanese, and use Answer Sheet 【3-2】 if you write in English. On the unused answer sheet, make sure to write ONLY your examination number.

(問題はここまで)

- 解答用紙はすべて回収します。
- 試験終了時、解答用紙【1】、【2】、【3-1】、【3-2】の順に並べてクリップで留めてください。
- 問題用紙は持ち帰ってください。

問題1

次の問に答えなさい。

(1) 放物線 $y = x^2 + 2x + 2$ を x 軸方向に p , y 軸方向に q だけ平行移動すると, 放物線 $y = x^2 - 4x + 1$ に重なる。 p と q の値を求めよ。

(2) $\left(\frac{1}{3}\right)^{30}$ を小数で表したとき, 初めて0でない数字が現れるのは小数第何位か求めよ。ただし, $\log_{10} 3 = 0.4771$ とする。

(3) 定積分 $\int_0^{2\pi} |\sin x| dx$ を求めよ。

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型](第2次審査)問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<理工学部>

問題2

次のページから、情報処理学会で「〇〇×情報処理」として特集された「スポーツ、音楽、ダンス、ラップ、食、頭痛、魚」における情報技術についてのコラムを掲載している。この特集の初めには次のように書かれている。

情報学(情報処理)はさまざまな分野を結びつける学問領域です。現在、そのつながる先が急速に拡大していることは、皆さんも日々感じていることでしょう。いろいろな分野において、情報処理はどのように活用されているのでしょうか? 情報処理によってどのようなつながりが生まれているのでしょうか?

本特集は深さより広さを優先し、「〇〇×情報処理」の事例をたくさん集めることで、さまざまな「つながり」を知ってもらうコラム集です。

出典: 加藤由花「特集『〇〇×情報処理』編集にあたって」『情報処理』Vol. 64, No 8. 情報処理学会 2024年8月。入試問題にあたり、一部抜粋、変更した

次の問に答えなさい。

問1 「スポーツ、音楽、ダンス、ラップ、食、頭痛、魚」の各事例の中から自分が興味を持ったコラムを1つ取り上げ、その事例での情報技術の応用について、どのような点に興味や関心を持ったか、新しい気づきなどについて200字以内で記述しなさい。

問2 日常において自分の関心のある事例を1つ取り上げ、その事例に関する分野に情報技術をどのように応用できるか、自分の考えを600字以内で述べなさい。

まず、その分野の説明と情報技術が現在どのように使われているかを述べた後で、今後どのように情報技術の応用・発展が期待されるかなどについて述べなさい。

事例が思い浮かばない場合は、本問題で取り上げた「スポーツ、音楽、ダンス、ラップ、食、頭痛、魚」の中から一つを選び、コラムを踏まえて、その分野で今後どのように情報技術の応用・発展が期待されるかなどについて述べなさい。

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型](第2次審査)問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<理工学部>

スポーツ×情報処理

ここ数年、センシング、機械学習、ヴァーチャルリアリティ(VR)といった情報処理技術のスポーツ分野への導入が急加速しており、選手、チーム、審判、メディア、ファンそれぞれの在り方に一大変革をもたらしている。中でも革新が目覚ましいのが、試合データの統計的分析に基づいて選手評価や戦略立案を行う「スポーツアナリティクス」と呼ばれる分野である。従来は、プレーの「結果」に関するスコアブック的情報が主に分析に用いられていた。しかし、試合での選手やボールの動きをトラッキングする技術が導入されると、「プレーそのもの」が分析の対象になった。この意義は大きい。具体例を挙げよう。アメリカのメジャーリーグベースボール(MLB)では、2015年に「Statcast」と呼ばれるデータ解析システムが導入された。これは、選手やボールの動きに関する80項目以上にも及ぶ情報を画像解析(2015～2019年はボールの軌道はドップラーレーダ)によって瞬時に分析するものである。テレビの実況中継でも、投球や打球の速度に加え、リプレーにボールの軌道のアニメーションが表示される。マニアックなファンは、「Baseball Savant」などのWebサイトで一般公開される詳細なデータを見て楽しむことができる。各球団は、データ解析専門のアナリストを置いて、独自の深い解析を行っている。

Statcastは技術や戦術の常識も変えた。有名な例が、バッティングにおける「フライボール革命」である。Statcastのデータ解析によって、長打(特に本塁打)になる確率の高い打球速度と打球角度の条件(「バレルゾーン」と呼ばれる)が明確になった。その結果、2017年頃から、従来はよくないとされてきたアッパースイングで打球角度を上げることを目指す打者が増えた。経験則に基づく「セオリー」が覆されたのである。その効果もあってか、2017年シーズンはMLB全体の本塁打数が増加した。すると投手の方も、アッパースイングでは打ちにくい高めで勝負する傾向が強まった。これも「長打を避けるには低めに投げろ」というセオリーに逆らっている。データ解析の高度化によって、技術や戦術はダイナミックに変わっていくものになった。

トラッキング技術は、プレーの判定にも利用できる。2022年のサッカーワールドカップでの「三苦の1ミリ」は記憶に新しい。日本代表が決勝トーナメント進出を決めた試合で、決勝点をアシストした三苦薫選手のゴールラインギリギリのプレーが、主審の判定ではラインを割っているとされたが、「ビデオ・アシスタント・レフェリー(VAR)」によって覆った件である。このVARには、Statcastにも使われている画像解析システムに加え、ボールに内蔵された加速度センサ・ジャイロセンサの情報も利用されている。文字通り勝敗を分けるかもしれない判定が、人間よりも高い精度で行われることは、公平性、納得性の観点から大きなメリットがある。

出典：柏野牧夫「スポーツ×情報処理」『情報処理』Vol. 64, No. 8. 情報処理学会 2024年8月。入試問題にあたり、一部抜粋、変更した

<理工学部>

音楽×情報処理

「音楽大学出身です」と言うと、才能や感性の話題に続けられることが多い。しかし、それらは自身の音楽経験と少々乖離がある。

たとえばピアノの練習は、スポーツ選手などと同じように、まず基礎から始まる。指の付き方や筋力の違いによる音の不揃いをなくすため 2 音をひたすら行き来する運動や、打鍵の際の鍵盤の掴み方を把握するための球体を指で転がす運動など、楽曲を弾く前の基礎となる練習を毎日 1 時間は行う。これは筋肉や神経のトレーニングであり、情報伝達の訓練でもある。

似たような話で、しばしば「手が小さいのでピアノを諦めました」などと耳にすることがある。しかし、実際には手の大きさは要素の一部に過ぎず、ほとんどの場合、諦めなければならないほどにピアノ演奏に影響するものではなかったりする。たとえば、離れた音を打鍵する場合、演奏の方法は指を広げる方法だけではない。多くの場合、運指の技術や身体の重心移動、あるいは反対側の手で音を補うなど、演奏者は手をいっぱいに広げるだけでなく実はもっと総合的で複雑な情報処理を行っている。

少し視点を変えてみる。楽曲分析は、譜読みの段階から行われる。楽曲の構造を分析し、コピーした楽譜を楽曲の構造をもとに切り貼りする。現在の楽譜は出版の都合もあり、A4 サイズに収められる形で出版されることが多いため、ほとんどの楽譜は楽曲構造に関係なく、均等に小節が割り振られている。それを、一度分解し、構造に合わせた楽譜を作成し直すという作業を行う。音にするのは、その後である。まずは構造を理解し、そこから得られる情報を整理した上で、初めて楽曲の練習に取りかかる。

このように、ピアノの練習 1 つ取っても、あまり知られていない情報処理活動が多くある。才能や感性と呼ばれる音楽活動は、情報処理技術そのものと言っても過言ではない。

出典：太田智美 「音楽×情報処理」『情報処理』Vol. 64, No. 8. 情報処理学会 2024 年 8 月。入試問題にあたり、一部抜粋、変更した

<理工学部>

ダンス×情報処理

「ダンスというと人のみのイメージがあつたので、情報処理と密接に結びつけられることに驚きました」。これは、高校で講演した際に、聴講していた生徒さんから実際にいただいたコメントです。読者の中にもこの驚きに共感される方がいらっしゃるかもしれません。一見、ダンスと情報処理は無関係に見えますが、実はさまざまな観点から情報処理技術を応用することが可能です。ダンスでは、身体各関節の位置や楽曲における音の大きさ・高さなど、時間経過に伴って変化する要素があり、これらは互いに密接にかかわり合っています。これらの要素は、すべて信号波形として捉えることができ、情報処理の対象となります。このような情報を利用して、たとえば、ダンスの動きを分析することで、リズムを正確に推定したり、その動きに合った楽曲を推薦できるシステムを開発したりできます。ほかにも、ダンスの振り付け作成を助けるシステムや、ダンサーのパフォーマンスを向上させるためのフィードバックシステムの開発などが考えられます。ダンスに関連する動作や楽曲などをダンス情報として扱い、適切に処理していくことで、ダンスにかかわるさまざまな人を支援することができます。ダンス情報を対象とした多様な技術・研究テーマをカバーする研究分野名は「ダンス情報処理」と呼ばれており、ダンス情報処理を推進するデータベースとして「AIST Dance Video Database」が公開・運用されています。研究目的であればどなたでも利用でき、たとえば直近ではダンス動作の自動生成に関する研究での活用が多数観測されます。引き続き誰もが利用しやすい形式でダンス情報を適切に蓄積、管理、公開していくことで、今後も多様な技術が生み出されていくと考えられます。

ダンス情報処理に関する研究(ダンス研究)が盛んな分野の1つとして、ヒューマン・コンピュータインタラクション(HCI)が挙げられます。HCIとは、人とコンピュータの相互作用を研究する学問分野であり、ダンスとの関連性も深く、最近では過去20年間のダンスに関連した研究のサーベイ論文がHCI分野のトップカンファレンスであるConference on Human Factors in Computing Systems(CHI)で報告されています。HCIにおけるダンス研究では、大きく2つの課題が挙げられています。簡潔に言うと「1. 創造性の感覚的次元を定義、理解、育成するために、コンピュータをどのように利用できるか?」「2. 多様なダンス制作において、振付家に効果的なコンピューティングの支援を提供するにはどうすればよいのか?」の2つです。これら課題に取り組むことは、ダンスに関連したHCI研究を進展させるだけでなく、HCIにおける創造性研究の理解を深めることにもつながっていくと考えられます。

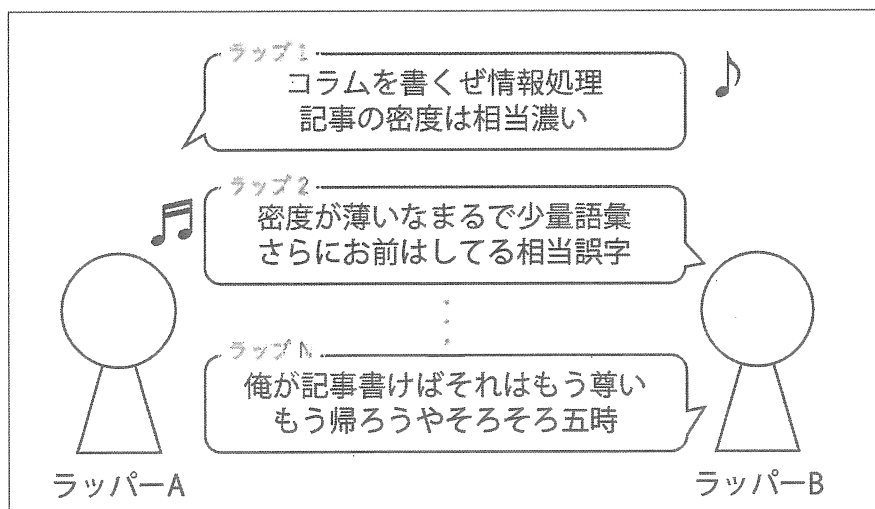
出典：土田修平 「ダンス×情報処理」『情報処理』Vol. 64, No. 8. 情報処理学会 2024年8月. 入試問題にあたり、一部抜粋、変更した

<理工学部>

ラップ×情報処理

ラップとは、音楽手法の一種であり特に韻(ライム)が重視されるジャンルの音楽です。たとえば、「コラムを書くぜ 情報処理。記事の密度は相当濃い」のようなラップが考えられます。ライムは母音が一致する語のペアのことで、ここでは「情報処理(OUOUOI)」と「相当濃い(OUOUOI)」がライムとして含まれています。私はこのようなラップを自動生成する手法の開発を、情報処理の技術を用いて取り組んでいます。一見、ラップと情報処理は遠い関係のように思えますが、そうではありません。たとえば、ラップを含む歌詞の生成には、深層学習と呼ばれる人工知能の技術を用いて大量のデータから歌詞を生成していますし、ラップに含むライムを見つける際にも情報検索の技術が用いられています。むしろ、コンピュータは1人の人間よりも遥かに多い語彙を持ち、その中から高速に検索できるため、人が考えるよりも情報処理の技術を用いたほうが高度なラップを生成できる可能性を持っています。

私はその中でもラップバトルと呼ばれる競技に関するラップの生成に取り組んでいます。ラップバトルとは図に示すように2人のラッパーが対話形式で即興ラップを行い、どちらのラップが優れているかを競う競技です。これにおいても、「アンサー」という評価指標が重視されます。歌詞としてのラップとは異なり、ラップバトルでは相手のラップに返答する形でラップを作成する必要があります。たとえば、図で示すラップ2は「密度が薄いなまるで少量語彙。さらにお前はしてる相当誤字」というラップ1の「記事」に関する発言をラップ内に考慮しています。この返答のことをラップバトルでは「アンサー」と呼んでいます。この「アンサー」の生成においても、自然言語処理の分野である対話生成の手法を用いています。また、即興ラップの競技という点でも、コンピュータの処理速度の速さと相性が良いと言えます。これらのことから、情報処理から遠い関係に思われる、ラップやラップバトルというテーマにおいても、実は情報処理の技術と関係が深いことが分かります。



出典: 三林亮太 「ラップ×情報処理」『情報処理』Vol. 64, No. 8. 情報処理学会 2024年8月. 入試問題に
あたり、一部抜粋、変更した

<理工学部>

食×情報処理

調理は、複数の食材を加工し組み合わせて、料理という製品を作る「ものづくり」です。加工には順序があって、かつ並列に行う必要があります。複数の料理が指定時刻に完成するよう、タイミングを考える必要もあります。このような高度な人間の創作活動をコンピュータで支援することを目的とした調理ナビゲーションの研究が行われています。調理手順のスケジューリングや、ロボットを介した調理法の伝達、認知症や高次脳機能障害を持った方のリハビリテーションとしての活用などの研究が挙げられます。私たちは、キッチン上方から調理台に向けて下向きに可視光カメラや赤外線カメラを設置し、調理行動を観測して、食材や加工動作を認識する研究を行いました。しかしながら状態や数に変化する物体の認識や追跡は非常に難しく、実用化にあたっては多くの技術的課題が残されています。

レシピの調理手順はどの食材をどう加工するかといった作業の流れを記述したもののなので、ワークフローグラフで表現することができます。私たちは自然言語処理技術を活用し、レシピ文から食材や加工動作、およびその修飾語句を抽出した後、それらの依存関係を推定することで、レシピの手順文をフローグラフに変換する技術を開発しました(下図)。

2000年代中頃、日本ではクックパッド、米国では Allrecipes など、オンラインでアクセス可能なユーザ生成型レシピが一気に増加したことにより、レシピの検索や推薦の研究が行われるようになりました。2011年に学術誌 Nature で発表された論文“Flavor network and the principles of food pairing”により、料理の味がその材料に含まれる旨味成分(flavor compound)の組合せに依存すると知られてからは、FoodBなどの食材成分データベースも整備され、化学的な解析に基づくレシピ検索・推薦手法も提案されています。

画像認識技術により、食事写真からその栄養価を推定して食事マネジメントに活用するアプリが広まっています。私たちが開発している FoodLog Ath1 では、まず食事写真から料理ごとの領域を検出し、そのそれぞれの料理のカテゴリを特定します。その後、各料理カテゴリに対し定義された標準レシピに基づき計算された栄養価と紐づけることで、ユーザがどれだけの栄養価を摂取したのかを推定しています。現在は、食事画像から食材リストを推定することで、より正確な栄養価計算を可能とするアプリ RecipeLog の開発も行っています。

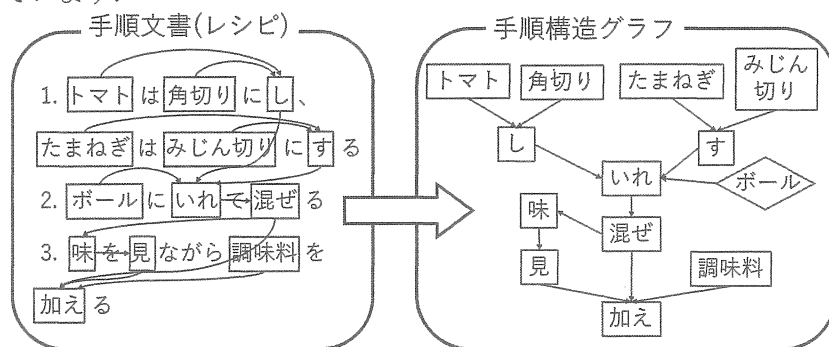


図: レシピの手順文書の意味構造解析

出典: 山肩洋子 「食×情報処理」『情報処理』Vol. 64, No 8. 情報処理学会 2024年8月。入試問題にあたり、一部抜粋、変更した

<理工学部>

頭痛×情報処理

筆者は子どものころから頭痛に悩まされ続けている。スマートフォンやPCの画面を見ていられないようなときもあるが、頭痛と共存(?)して生活するためには、「情報処理」にかかわるデジタルデバイスは、記録、予測、検索そしてコミュニケーションにおいて欠かせない道具でもある。筆者の頭痛生活における情報処理を紹介してみる。

頭が痛くなってきたと感じたら、まずスマートフォンで「頭痛一着」アプリを起動する。このアプリは、気圧の変化の状況や予報をグラフで示し、急激に気圧が下がるときには「注意」「警戒」と表示するほか、気圧変化のアラートを出したり、自分の体調不良を記録したりすることができるものである。「警戒」であれば、さらに頭痛が酷くなる可能性を考えて早めに鎮痛剤を飲んだり、思い切って休んだりしてしまうこともある。特に気圧の変化がないようであれば、少し休んで様子を見たり、肩こりなどほかの要因を考えてストレッチをしたりする。

次に、頭痛の状況をアプリに記録する。シンプルなものから詳細を記録するものまでさまざまなアプリがある。筆者の場合は、頭痛の個所、継続時間、服薬、思い当たる原因などを記録でき、かつ睡眠時間を自動で取得できるアプリを使っている。頭痛が激しいときは入力どころではないため、(忘れなければ)後で入力する。

先のアプリの睡眠時間は、就寝中に付けているAppleWatchから記録されたものだ。別途睡眠記録アプリも使っており、睡眠が浅いか深いか、細切れかどうかを見ることがもできる。こうした自分のデータを蓄積していくと頭痛が発生する傾向や、頭痛の種類による対処の効果(薬が効いた、温めた方がよかった、冷やした方がよかったなど)が見られるようになる。先の「頭痛一着」の気圧予想と併せて、頭痛が起きやすい状況を予想して備えておいたり、痛みの種類によってどう対処するかを考えたりすることができる。

頭痛が続くと、「頭痛 辛い」などで検索していたこともあったし、過去には頭痛の原因は霊が肩に乗っているからだというトンデモ記事が引っかかることもあった。近頃は、症状検索エンジン・ユビーに登録し、提供される情報を参考にして、頭痛外来への準備に使うことが多い。

なお、頭痛がある日は、画面を見るのも辛いと言うのに、ついSNSに「頭が痛い」と書いてしまう。同様に頭痛が辛い方々と「今日は来ますね……」というやりとりをすることもある。少し気持ちが楽になる気がする。

出典：折田明子 「頭痛×情報処理」『情報処理』Vol. 64, No. 8. 情報処理学会 2024年8月。入試問題にあたり、一部抜粋、変更した

2025年度南山大学総合型入試[プレゼンテーション型] (第2次審査) 問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<理工学部>

魚×情報処理

養殖において、生簀の中を再現することは、とても有用である。魚の行動をシミュレーションにて再現することができると、餌の量、病気の早期発見、出荷時期や出荷高の推定等、いろいろと役に立つ情報を得ることができる。しかし、漁や養殖の業界では、情報化が進んでいない。魚群探知機や釣りロボット等実用されているものもあるが、地上の利用度合いと比較して、雲泥の差である。なぜ情報化が進まないのか？ 答えは簡単である。水が情報機器の天敵であるからである。特に海水はよろしくない。ちょっとでも塩水がかかると、情報機器は簡単に壊れてしまう。生簀の場合は、船と違い、電源がない。陸から離れていることも多く、電線を引くことも難しい。さらに、水中では Wi-Fi が通じない。そのため、水中で得た情報、たとえば、連続的に魚の映像などをリアルタイムや継続的に得ようとするためには、有線で行う必要がある。カメラのハウジング(電子機器を水から守る)に電源および情報伝達用の有線ケーブル(最低 1 本)を通すための穴を開けなくてはならない。測定水深によっては、水圧による浸水の危険性がある。シールド(穴をきっちり塞ぐ)に成功したとしても、ケーブルが潮流に流され測定機器が固定されず、ハウジングに藻が付き、撮影できなくなる。その時間は、地上よりもずっと早い。そのため、現状は、バッテリー駆動でデータは、マイクロ SD カードに保存し、引き上げたあとに、情報を抜き出して、分析や解析に回している。

(略)

このように、実データから、魚の行動分析のための統計データや、水中魚画像処理をするためのディープラーニングのトレーニングデータセットを得ることなど、夢のまた夢である。そこで、3DCG を使って生簀の中を再現し、大量のトレーニングデータを生成する方法をとることとした。

生簀の中を 3DCG で再現しようとする、生簀そのものの CG、魚の CG を本物そっくりに作ることはもちろんのこと、水中環境も再現しなくてはならない。実際の映像と比較したときに、CG シミュレーションと大きく見え方が異なると、実運用に耐えることができないからである。また、魚の動きそのものもそっくりにする必要がある。実際の生簀の中とどのくらい似せることができるか、が、その後の尾数カウントやトラッキングの精度にかかわってくる。さらに、魚の群行動を生成するために、魚の生態を取り入れることで、生簀内の密度の違いや温度の違いによる振舞いを自動生成することができる。シミュレーションを可能な限り、本物の魚に近づけるために、日々、データの取り方を工夫し続けている。アナログとデジタルの両方を駆使することで、魚の情報処理が可能となる。

出典：石若裕子 「魚×情報処理」『情報処理』Vol. 64, No 8. 情報処理学会 2024 年 8 月。入試問題にあたり、一部抜粋、変更した



南山大学

入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)

Fax 052-832-3592

nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

2025年度 南山大学

学校推薦型選抜
(長期留学経験者対象)

小論文問題集

目 次

審査の概要.....	1
人類文化学科.....	2
英米学科.....	3
スペイン・ラテンアメリカ学科.....	5
ドイツ学科.....	6
アジア学科.....	9
経済学科.....	12

※志願者がなかった学科の小論文は掲載しておりません。

審査の概要

学部	学 科	小 論 文 概 要		面接方法
人 文	キリスト教	キリスト教の文化や思想などに関する文章を読み、その要旨と自分の意見を論述する。	1000 字程度	個 人
	人類文化	人間の文化や歴史に関する文章を読み、その要旨と自分の意見を論述する。	1000 字程度	個 人
	心理人間	資料を活用しながら、自分の考えを論理的に記述する力を問う。	1200～1600 字程度	グループ 〔グループワークを含む。ただし、受験者が1名の場合は、個人面接を行う。〕
	日本文化	日本語の文章を読み、その要旨と自分の意見を論述する。	1200 字程度	個 人
外 国 語	英米	英語の文章を読み、その内容について日本語で論述する。	1000 字程度	個 人 〔英語による面接を含む。〕
	スペイン・ラテンアメリカ	スペインおよびラテンアメリカの政治・経済・社会・文化・歴史・芸術等に関し、2 題から 1 つを選択して論述する。	1000 字程度	個 人
	フランス	フランス語圏の文化や社会に関する文章を読み、設問に答え、文章の内容について自分の考えを論述する。	1000 字程度	個 人
	ドイツ	ドイツ語圏や日本の文化・社会に関する文章を読み、設問に答え、関連するテーマについて自分の考えを論述する。	1000 字程度	個 人
	アジア	アジアの社会・歴史・文化などに関する文章を読み、設問に答え、内容について自分の考えを論述する。	1000 字程度	個 人
経 済	経 済	経済・社会問題に関する文章や資料を読んで、内容に関する設問について論述する。 面接では、小論文の課題をテーマにしたグループ討議と志望理由等の確認を行う。	1000 字程度	グループ
経 営	経 営	-		個 人
法	法 律	広く社会問題全般の中から、ある話題に関する論説を読み、①内容に関する設問に答え、②内容に関して小論文形式で自己の意見を述べる。	1000 字程度	グループ
総合政策	総合政策	現代の国際社会や国内社会の問題や課題に関する一般的な文献・資料を読み、設問に答える。	1000～1200 字程度	個 人
理 工	ソフトウェア工学 データサイエンス 電子情報工学 機械システム工	科学技術・数学・物理学に関する文章や資料を読んで、内容に関する設問に対して論述する。	800 字程度	グループ
国際教養	国際教養	グローバル社会で生起する問題に関する英語の文章を読み、その内容を日本語で要約し、自分の考えを英語で論述する。	日本語 400 字以内 英語 150words 程度	グループ 〔英語による面接を含む。〕

2025年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年11月30日実施）

＜人文学部 人類文化学科＞

次の文章は、音楽家のダニエル・バレンボイムと文学研究者のエドワード・サイードとの対談である。これを読んで、対談全体の内容を200字程度で要約した上で、下線部分に対するあなたの考えを論じなさい。字数は合計で1000字程度とする。

バレンボイム：以前どこかで読んだのだけど、チョムスキーはテレビで発言するのを拒絶している。テレビでは一つの概念を最後まで説明する時間が与えられないと知っているからだ。これはおおいに尊敬すべき態度だと思う。

サイード：まったくそうだ。僕もそれはやめている。昔はずいぶんとメディアに出演したものだ。そういうときには「サウンドバイト」と彼らが呼ぶ形式に合わせねばならない。それにはまったく賛成できない。時間の浪費だと思う。だから表現手段として、執筆するか講演するかのどちらかを選ぶようになった。そこでは聴衆の前で考えを発展させる時間が与えられるからね。（中略）

音楽家は聴衆の生活にわり込んでいく。聴衆は他のすべてを放り出し、生活を中断して、君の演奏を聞きに駆けつける。同じように、僕の書いたものを読もうとする人も、それを読む時間をつくるために他のことをわきに置いておかねばならない。このわり込みが効果的であるためには、こちらの側が修業をつむことが要求される。なにかを知っていること、特定の文化を身につけ、特定の訓練をつんでいることが必要だ。それはものすごく大切なことだと思う。僕の場合は文献学的な修養と呼ばれるようなもので、テキストを歴史的な文脈において読解し、言語の規則、形式や語法などを理解しようとするものだ。君の場合は、古典音楽の研究、ソナタや変奏曲や交響曲などの形式を理解することだ。こうした訓練は、現代の若い音楽家たちのあいだでは姿を消しはじめている。それに代わって浸透しているのは、僕に言わせれば基盤を欠いた折衷主義のようなものだ。「ああ、ベートーヴェンね。ダ、ダ、ダ、ダーン」あるいは「ベートーヴェンは、〇〇や××をやる作曲家だ」、このような文句に表れているものだ。

バレンボイム：それはスローガンだね。僕はスローガンやテレビ言語に対してははっきりと哲学的な批判をもっている。そういうものは内容と時間の関係を考慮していないからだ。つまり、ある一定の内容には、一定の長さの時間が必要であり、それを圧縮したり短縮したりすることはできないものなのだ。それはまるで、「ベートーヴェンの楽譜のエッセンスを、二分間で教えてくれ」と要求するようなものだ。

サイード：あるいは、昔よくあったような「世界名曲集」なんてタイトルの安っぽいレコード。いろいろな曲の抜粋を収録して、凝縮された作品の要約のようなものをつくらうとする。そんなものは完全な裏切りだと思う。『アマデウス』のサウンドトラック盤が、それだけでじゅうぶんなモーツァルトとして演奏されるのが、モーツァルトへの裏切りであるのと同じことだ。

バレンボイム：まったくだ。思うに、どんなプロセスにも、それが文化的なものであれ、政治的なものであれ、その内容と、それが要求する時間とのあいだには、絶対的に定まった関係がある。そして、ある種のものは、時間をじゅうぶんに与えなかったり、与えすぎたりすると、消え失せてしまう。

出典：〔原典〕PARALLELS AND PARADOXES by Edward Said. Copyright (c) 2002, Edward W. Said and Daniel Barenboim, used by permission of The Wylie Agency (UK) Limited.
出典：ダニエル・バレンボイム、エドワード・W・サイード(著) 中野真紀子(訳) 『音楽と社会』 みすず書房 2004より一部改変

(バレンボイム、サイード[著];アラ・グゼミリアン[編]『音楽と社会』みすず書房 2004より一部改変)

2025年度南山大学推薦入学審査（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 (2024年11月30日実施)

<外国語学部 英米学科>

Toys provided to children and the characteristics they are encouraged to adopt can deeply shape their future. From a young age, children face gendered expectations. Girls are often attracted to “feminine” items like pink dresses by age two, while sports are typically viewed as for boys, that is, “masculine.” These early perceptions about gender roles are shaped by a highly gendered environment, influencing children’s understanding of themselves and their place in society.

Although these gender divisions might seem minor, they have long-term effects on children’s self-image, choices, and behaviors. Society’s indirect reinforcement of gender roles can negatively shape one’s values and thereby limit personal growth and freedoms, impacting one’s individuality and identity.

Historically, several societies viewed women as intellectually inferior, a misconception that even science once attempted to prove. Indeed, many myths about gender-related intelligence differences have been disproven, but biases are still not unusual in our society, starting as early as before birth. Studies show that parents often subconsciously treat male and female babies differently. For instance, when mothers know they are expecting a boy, they describe the baby’s movements as “strong” or “active,” even though no actual difference exists if they don’t know the baby’s sex. Such biases are reinforced by toys that assign specific traits and interests to boys and girls.

Play is essential to childhood development, enabling children to build skills and explore interests. Blocks, for example, can enhance spatial abilities, while dolls promote empathy and caregiving. However, when children receive toys limited by gender stereotypes, they miss out on many developmental opportunities. This limits the range of skills and interests children can develop based on gender expectations. Observing others, children start identifying with these “appropriate” gender roles, with girls choosing pink items and boys avoiding them.

These tendencies are further reinforced through marketing and labeling practices. Psychologists explain that children naturally identify with the “group” they see themselves belonging to. This drives boys away from dolls and makes girls hesitant to pick up toys like trucks. Even a toy’s color can influence interest; girls are more likely to play with a “masculine” toy if it is pink. As children grow, they associate specific toys and activities with their gender, shaping their lifelong interests and behaviors.

Parents also unintentionally support gender stereotypes by how they perceive their children’s characteristics. Boys are often described as adventurous or energetic, while girls are seen as gentle or nurturing. Research, however, indicates that these differences are not natural but shaped by parental biases. Parents tend to emphasize boys’ physical abilities and set more daring targets for them, even when no actual physical difference exists. This indirect bias influences children’s self-perceptions, leading boys to see themselves as active and assertive, and girls as quieter and more emotionally expressive.

Language also reinforces these stereotypes. Studies have shown that mothers speak more often to baby girls than baby boys, discussing emotions more frequently with daughters. This can unintentionally condition girls to

2025年度南山大学推薦入学審査（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点

（2024年11月30日実施）

<外国語学部 英米学科>

be more expressive and communicative, while boys may grow up focusing on physical or assertive behaviors. These language patterns impact how children see themselves, potentially limiting their self-expression and life choices.

Interestingly, parents are generally more open to buying “masculine” toys for girls than “feminine” toys for boys, even if they aim to avoid gender stereotypes. This reflects a societal view that values masculine qualities over feminine ones, making parents uncomfortable when boys display characteristics traditionally seen as feminine. Thus, if girls enjoy “masculine” activities, they may be praised. On the other hand, boys who show interest in “feminine” items are often discouraged and may face ridicule. This double standard strengthens the notion that femininity is less valued, impacting boys’ behaviors and career prospects later in life. Studies show that men with “feminine” qualities often face differences in income.

Gendered conditioning also impacts academics. For example, no gender difference in math exists when children start school, but a gap emerges over time due to expectations from both teachers and the children themselves. These evolving expectations conflict with today’s ideas of gender equality, which promote the availability of choices and fulfilling one’s potential, regardless of one’s gender.

The influence of gender-specific toys may even affect brain development. In one study, girls who played a spatially challenging game like *Tetris* for months showed growth in brain areas tied to visual processing. This finding suggests that toys can influence intellectual growth, meaning that when boys and girls are encouraged to play with different toys, their brains may develop differently. Toys like puzzles or building blocks may enhance certain cognitive skills, affecting long-term development.

The biases surrounding toys, personality characteristics, and activities have significant and lasting effects on individuals and society. When children are steered into limited gender roles, they may develop skills and interests that are suited to these roles but lose chances to explore other interests or talents. This kind of social conditioning maintains the stereotypes that society often tries to overcome.

In summary, toys, language, and parents’ expectations shape how children perceive themselves and their world. These influences start early and extend into adulthood, affecting career paths, self-expression, and social roles. To change these patterns, we need conscious efforts to give children diverse experiences and encourage interests beyond traditional gender norms. This shift could lead to a world where all children can explore and develop a full range of skills, fostering a more inclusive society.

出典：Melissa Hogenboom, “The Gender Biases That Shape Our Brains,” *BBC*, May 25, 2021.

【設問1】本文の内容を要約しなさい。（1000字程度。日本語で原稿用紙に解答してください。）

2025年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年11月30日実施）

＜外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科＞

次の2つの設問①・②からひとつを選び、1000字程度で論述しなさい。解答用紙にどちらの問題を選択したか問題番号を明記し、小論文の冒頭(枠内の冒頭)にはタイトル(題目)を記しなさい。また、アルファベットで表記される語句を用いる場合、2文字(語間にスペースがある場合、それも1文字とする)で回答用紙の1マスを使うこと。

① スペイン文化を象徴する以下3つのテーマ、(1) 建築、(2) スポーツ、(3) 食文化、の中から、あなたが最も関心のあるテーマ1つを選んでスペインに関して自由に論述しなさい。

② スペイン語圏(スペインやラテンアメリカ)の歴史や言語、芸術について、あなたが最も関心を持つ事柄を答えなさい。さらに、その事柄に関心を持つ理由を記述しなさい。

2025年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年11月30日実施）

<外国語学部 ドイツ学科>

次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

ドイツで40年以上歌手活動を続けるマリアンヌ・ローゼンベルクは、長い間、父親の助言にしたがって、自分がシンティの家に生まれたことを公表していなかった。彼女の父親は、ナチスによる人種政策の被害者で、家族や親戚の多くを失った。自身は強制収容所からの生還を果たしたが、娘をかつて自分が経験したような人種差別や敵視にさらしたくなかったのである。

ローゼンベルクによると、父親は生前ナチスがユダヤ人やロマに対する民族虐殺の根拠とした人種イデオロギーがいつ再燃するか分らないと、つねにきぐ^(a)していたという。近年、東欧諸国で「反ジプシー主義」を掲げる極右政党が台頭し、ドイツでもロマ居住地や難民収容所がネオナチ集団に襲撃される事件が多発している。また、2011年の内戦勃発以後、膨大な数の難民がシリアからヨーロッパへ押し寄せた。欧州全体で難民への対応をめぐる議論が活発化するなか、各地で勢力を増しつつある極右政党は「外国人への不安」を煽る発言を繰り返している。この事態に直面し、ヨーロッパ各国で少数民族として暮らすロマの多くがローゼンベルクの父親と同じような危機感を抱き、子どもたちの将来を案じながら生活している。

ロマは、国家をもたず、世界中に分散して暮らす少数民族である。11世紀ごろ、戦乱によって、故郷インド北西部から移動を開始したと考えられている。母語は「ロマニ語」である。「ジプシー」や「ツィゴイナー」などの呼び名は、多数派住民が差別的に用いてきたものである。かれら自身は、民族全体を指して「ロマ」と自称する。

音楽、絵画、文学作品などで典型的に表現された「ジプシー」のイメージは、世界中に流布^(b)している。しかし、何世紀にもわたって偏見や社会的隔絶に苦しんできたロマの過酷な現実を知る人は少ないのではないだろうか。差別が根強く残る要因の1つとして、人びとの無知や無関心、メディアによる偏った報道が挙げられる。ロマに対する偏見の克服は、ドイツだけでなく、ロマでないわたしたち全体にとっての課題といえよう。

ロマは居住する国や歴史的背景の異なる複数のグループから構成される。ドイツは戦後、人種迫害の歴史を繰り返さないよう民族所属による人口統計を破棄したため、ドイツに暮らすロマ人口の公式データは存在しない。推定ではヨーロッパ全体で800万～1100万人とされるロマのうち、ドイツに約12万人が暮らしているが、その構成員は大きく2つのグループに分かれる。

15世紀以来ドイツで生活し、ドイツ国籍を有している「シンティ」と「ロマ」（この場合の「ロマ」は民族内の特定グループを指す）に属する人びと（ドイツ・シンティ・ロマ中央委員会によると約7万人）と、20世紀なかごろ以降、東欧諸国から労働移民や難民としてドイツにきた外国籍のロマ（ユニセフの推計では約5万人）である。多くはベルリン、ハンブルク、フランクフルト、ミュンヘンなどの大都市、デュッセルドルフとケルンを中心とするライン＝ルール地帯、ライン＝マイン、ライン＝ネッカー地域の人口集中地帯やキールなどに居住している。

ドイツ国籍のロマは比較的安定した生活を築いているが、これまでの道のりは、決して平坦ではなかった。ナチスによるホロコーストの被害者としての精神的苦痛や家族や親戚を失った悲しみに加え、ユダヤ人の場合と異なり、ロマがナチスの人種政策の犠牲者であることは、戦後永らく承認されなかったからである。ロマ自身による粘り強い抗議活動と市民権獲得運動の成果が実りはじめた1980年代に入る

2025年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年11月30日実施）

<外国語学部 ドイツ学科>

まで、略奪された財産や諸権利の返還および戦後補償もされないまま、工業都市郊外など劣悪な環境での生活を強いられた。ようやく 2012 年になって、ナチスによるロマ殺害の犠牲者を追悼する慰霊碑が、ベルリンの連邦議会議事堂前に建立^(a)された。

現在は、1998 年に発効した「民族的マイノリティ保護のためのヨーロッパ評議会の枠組み協定」を根拠とする法的保護の対象として、ドイツ国内の少数民族に指定されている。1982 年には、「ドイツ・シンティ連盟」（1971 年結成）を前身とする自助組織ドイツ・シンティ・ロマ中央委員会が結成された。全国レベルの組織として連邦政府の財政援助を受け、会長のロマニ・ローゼを中心に、ロマの権利保護や人権啓発を目的とした、多岐にわたる活動を牽引している。

一方で課題も残る。2007 年から 2011 年にマンハイムの研究所がはじめて、ロマの人びととの共同調査をおこない、ロマが日常生活で受けている差別や、ロマとロマでない若者の甚大な教育格差などを明らかにした。具体的な取り組みが急がれている。

外国籍のロマの多くは、1989 年の社会主義体制崩壊にともなう社会混乱と各地で勃発した民族紛争のなか、生活のこんきゅう^(a)や激しい人権迫害を逃れて、ルーマニアやブルガリア、あるいはセルビア、コソボといった旧ユーゴスラビアの国々からドイツに移住してきた人びとである。ユニセフの推定によれば、居住権を得てドイツに在留している者は全体の 3 分の 1 で、残る大部分は庇護申請者として審査を待っているか、申請却下、あるいは申請却下後に送還実施をさしあたり見合わせる「滞在容認」という不安定な立場にある。ドイツで生まれ育った「滞在容認」資格の子どもや若者が、両親の祖国に送還されるケースもある。ロマへの差別や迫害が絶えない土地で、言葉も分からないまま貧困生活を強いられる事態が報告されている。

ドイツ政府は 2005 年に施行された移民法にもとづき、教育、就労、健康、住環境などの項目におけるロマの社会統合政策の枠組みを定め、各州がそれぞれの実情に応じて作成した施策を実行している。しかし、その対象は、基本的に居住権を有する者に限られている。それ以外の者は、各州が独自に設けるロマ支援策や各地の民間団体、ロマ自助組織の支援に頼るしかないのが実情である。支援がゆき届かないまま教育や就労の機会をじゅうぶんにえられずに生活している人びとも多い。

いかにロマの人権を確保し、かれらの文化を伝承しながら社会統合を促進するかは、地道に活動を続ける各支援団体の共通の課題である。なかでもロマの自助団体が主導する計画に、州、市、各分野の専門家が協力するかたちをとるプロジェクトは、当事者の意見を尊重しながら社会統合を進めるうえでのモデルとして注目されている。

たとえばロマの子どもが地元の学校に溶け込めるように、準備支援するフランクフルトのシャボラレ (Schaworalle) 保育所や、ロマの伝統的な生活形態を守り子どもの通学を支援するキールの居住地建設プロジェクト「マロ・テム」 (Maro Temm) などがある。何よりもロマ自身が、こうした取り組みのなかで生まれる人びととの結びつきや対話を通して、ロマに対する偏見を 1 つずつなくしていくことをききゅう^(a)している。

夜陣素子「現代ドイツにおけるローマ人権保護と社会統合―」（浜本隆志・高橋憲編著『現代ドイツを知るための 67 章【第 3 版】』明石書店、2020 年）（一部改変）

2025年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年11月30日実施）

＜外国語学部 ドイツ学科＞

〔設 問〕

1. 下線部(a)～(e)のひらがなを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。
2. ドイツにロマの人びとが定着した歴史的経緯を本文に即して200字以内で整理しなさい。
3. ドイツにおけるロマの生活や権利保護に関する課題を本文に即して300字以内で整理しなさい。
4. 日本において異なる文化をもつ人びととの共生にはどのような取り組みが行われるべきか、本文の内容も参考にしながら、あなたの考えを500字以内で述べなさい。

二〇二五年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二四年十一月三十日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

試験問題：次の「文章」を読み、「設問」の問いに答えなさい。

「文章」

この1年半ほどで、「グローバル・サウス」と呼ばれる新興・途上国との外交が以前にも増して重視されるようになった。

インドやブラジルは先進7か国首脳会議（G7サミット）の常連で、昨年の広島サミットにはインドネシア、ベトナムなども招かれた。イタリアのプーリアで開かれた今年のG7サミット招待国には、アルジェリア、アルゼンチン、ヨルダン、ケニア、チェニジア、トルコ、アラブ首長国連邦などの国々が並んだ。

中国の A 国家主席とロシアのプーチン大統領は5月の首脳会談で、⁽¹⁾ 中露を含む新興国グループBRICSや上海協力機構（X）の枠組みを通じてグローバル・サウスを団結させる方針を確認した。

グローバル・サウスは、国際通貨基金（Y）が世界経済を「先進経済」と「新興市場・発展途上経済」に分けているのを踏まえた概念だろう。中露は自国を「主要新興市場国」と位置付け、そのリーダー的存在のように振る舞う。だが、日本や米欧で中露をグローバル・サウスと見る人はほばいない。定義自体が国際政治の争点になっている。

なぜグローバル・サウスは重視されるのか。理由の一つは、世界経済における新興・途上国の比重の高まりである。世界経済に占める新興・途上国のシェア（占有率）は2000年の20％から23年には42％と大きく伸びた。（中略）

グローバル・サウスが重視されるもう一つの理由は、ロシアのウクライナ侵略を⁽²⁾ 「ケイギ」に、米国中心の「自由世界」と中露中心の「ユーラシア大陸連携」の対立が激化し、そのいずれとも距離を取る国々への働きかけが重要になったことにある。

「グローバル・サウス」の国々はどう動いているのか。米国中心の世界⁽³⁾ 「チツジヨ」は先進国が作ったものだと、多くの国が認識している。また、先進国に植民地支配された国も多く、反植民地主義の気分はなお強い。

B 徒の多い国では、パレスチナ自治区ガザにおけるイスラエルの武力行使と人道危機を見て、米国のウクライナ全面支援との「⁽⁴⁾ ダブルスタンダード（二重基準）」に反発する人も多い。

経済規模が一定以上の国の動きを理解するには、地政学・地経学的位置と国内政治を見る必要がある。

いくつか例を挙げよう。（中略）

二〇二五年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二四年十一月三十日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

東南アジアは台湾とともに、米中対立の中心舞台である。中国はASEANにとって最大の貿易相手だが、日米と欧州連合（EU）などを合わせた方が規模は大きい。投資は米国が最大である。

ASEAN主要6か国では、米国の軍事プレゼンスが各国の安全保障政策の前提となっている。ASEAN全体としては米中いずれも重要で、どちらかを選びたくはない。

各国の動きはかなり異なる。インドネシアは「非同盟・中立」を掲げるが、日米豪との共同軍事演習を活発化している。中国の投資を歓迎する一方、中国のいない経済協力開発機構（Z）入りを目指し、包括的及び先進的な環太平洋経済連携協定（CPTPP）参加にも関心を示す。

マレーシアはCPTPP加盟国だが、BRICSにも加盟申請した。米英豪による安全保障の枠組みAUKUS（オーカス）に⁽⁵⁾ケネンを示すが、豪州と緊密な安全保障関係にある。

フィリピンは米国の同盟国で、日本の「準同盟国」でもある。南シナ海の領有権問題で中国と対峙し、中国の経済協力に期待せず、日米と「ルソン経済回廊」プロジェクトを進める。（中略）

こうして見れば、これらの国々が⁽⁶⁾できるだけ多くの選択肢を持つて「戦略的自律性」を守ろうと努力しているのがわかるだろう。

その結果、どの程度の選択肢を持てるかは、その国の地政学・地経学的位置、経済規模、国内政治経済事情などでかなり違う。

日本として重要なのは、グローバル・サウスの立ち位置を理解した上で、米国中心の「自由世界」と中露を軸とした「大陸連携」のどちらにつくのか選択を迫らず、長期的、安定的な信頼関係を築くことである。

「安心して頼れる国」として、通商、エネルギー、開発金融、海洋安全保障などの分野で協力を深め、ともに国際システムを「進化」させていくことが求められる。それが結局、これらの国々を自由世界のステークホルダー（利害関係者）にすることになる。

〔文章、二二まで〕

（〔文章〕は、二〇二四年八月一八日付読売新聞「『地球を読む』グローバル・サウス」より一部改変のうえ引用）

二〇二五年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 六〇分 配点 一〇〇点 （二〇二四年十一月三十日実施）

〈外国語学部 アジア学科〉

〔設問〕

問 1 に入る人名を漢字で答えなさい。

問 2 傍線部（1）の「BRICS」は、5つの国名の頭文字を取ったものである。その5つの国に含まれていない国を、次の（a）～（d）の中から1つ選び、その記号を答えなさい。

（a）インド

（b）南アフリカ

（c）シンガポール

（d）ブラジル

問 3 、、 には、アルファベットの略称が入る。正しい組み合わせを、次の（a）～（d）の中から1つ選び、その記号を答えなさい。

（a）SCO、IMF、OECD

（b）SCO、IDA、APEC

（c）SRI、IDA、OECD

（d）SRI、IMF、APEC

問 4 傍線部（2）、傍線部（3）、傍線部（5）のカタカナを漢字にしない。

問 5 に入る宗教名を答えなさい。

問 6 傍線部（4）のようにとらえられる米国の姿勢について、あなたが知っていることを含めて二〇〇字程度で説明しなさい。

問 7 傍線部（6）を、〔文章〕に即して二〇〇字程度で説明しなさい。

問 8 〔文章〕は日本の立場とグローバル・サウスへの向き合い方をどのように考えているか、一〇〇字程度で説明しなさい。

問 9 日本が安定的に成長するためには、周辺諸国とどのような関係を構築するべきか。具体例を挙げながら、あなたの考えを四〇〇字程度で述べなさい。

〔設問、ここまで〕

2025年度南山大学学校推薦型選抜（長期留学経験者対象）問題

「小論文」 時間 90分 配点 100点 （2024年11月30日実施）

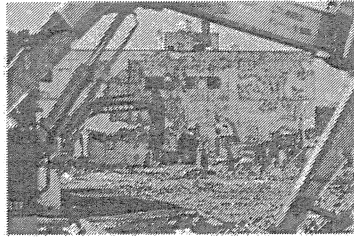
＜経済学部 経済学科＞

先月末に実施された第50回衆議院議員総選挙では多くの政党が最低賃金の引き上げを公約に掲げ、経済界からも賃上げについて意見が出されるなど、現在「賃上げ」に関する議論が活発化している。次頁以降に掲載されている2つの新聞記事でも、賃上げについて言及されている。これらの記事を読んで、以下の3つの問に答えなさい。

問1. 記事1の主張を簡潔にまとめなさい。（150字以上200字以内）

問2. 記事1を批判するとしたら、どのような論点があるだろうか。批判の理由も含め、簡潔に説明しなさい。必ずしも記事2に依拠した意見を述べる必要はない。（150字以上200字以内）

問3. 記事2に書かれているように、現在「政府主導で企業が賃金を上げることが推奨されて」いる。こうした中で、春闘などの団体交渉を通じて、企業内で一律に賃上げをすることに対して、あなたは賛成するか、それとも反対するか。冒頭で賛否を明確にした上で、あなたの意見を述べなさい。（600字以上800字以内）



人手不足で倒産

賃上げ加速で防ぎたい

人手不足による中小企業の倒産が急増している。建設、物流、外食など幅広い業種で広がり、放置すれば景気の大きな足かせ要因となり得る。人手の確保は企業の自助努力だけでは限界があり、国や地方自治体が協力して対策を講じなければならない。

調査会社の帝国データバンクによると、2024年度上半期の人手不足による倒産件数は163。同期では、過去最多を更新した23年度を上回る可能性が強い。同社は「企業の人手不足感が高止まりしている」と分析している。

倒産急増の背景には、社会全体の高齢化や働き方改革による長時間労働の制限に加え、賃上げが中小企業経営の負担になっていることもある。

今年の春闘では多くの企業で一定の賃上げが実現したが、大企業と中小企業の間では大きな差が出た。中小の場合、取引先である大企業との価格転嫁交渉が進まず、賃上げの原資が十分確保できなかったため、人材獲得を巡る競争で一層劣勢となり人手不足に拍車がかかった。

同社の7月調査によると、2月と比べて価格転嫁率が拡大した中小は3割超にとどまり、半分近くが横ばい、約2割は縮小した。円安の追い風で利益を上げる大企業が価格転嫁に不当に感じないことは許されない。独占禁止法に

抵触する可能性もある。

大企業には、価格転嫁を巡る中小との交渉に柔軟に対応するよう強く求めたい。公正取引委員会も監視を強め、価格転嫁に不当に感じない違反企業には厳しい行政処分をすべきだ。

人手不足倒産は建設、物流業界だけで全体の約45%を占める。地震と豪雨に見舞われた石川県の復興を含め、道路や橋などの改修事業にも工事の遅れという形で影響が出ている。写真は復旧が遅れる石川県輪島市。災害が増える傾向にある中、看過できない事態だ。雇用の7割を支えてきた中小に人材が集まらなければ、日本経済の土台が揺らぐ。官民が一体となって創意工夫して中小の賃上げを加速させ、人手不足の根本的な解消につなげなければならない。

出典：中日新聞 2024年10月16日

この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています

写真提供：共同通信社

<経済学部 経済学科>

記事2 2024年10月2日 日本経済新聞 朝刊 29頁

2024年の賃上げ交渉交渉（春闘）では、33年ぶりに5%超の賃上げが実現した。だがインフレはなかなか追いつかず、最近まで実質賃金は2年連続でマイナスが続いた。賃上げが実現しても個人消費の低迷が続くのはなぜだろうか。経済学的な視点から検討する。まずは日経「生活意識に関するアンケート調査」をみてみよう（図参照）。収入面では、先行き（1年後）について「減る」と答えた人が前年度より増加している。増加自体もあり感を得ていない。増加傾向を感じてもそれが1年後も続くという人は多くない。また今後1年間の支出を考えると、前年度より増加傾向を感じていない。今後の物価の動向が最も重要であり、「収入の増減」を上回る。昨今の政府による経済政策の中心は景気対策であり、中長期的な成長を意図しているものではない。デフレ社会では需要の底上げが必要だが、中長期的な成長を促すにはサプライサイド（供給側）に対する働きかけが不可欠だ。

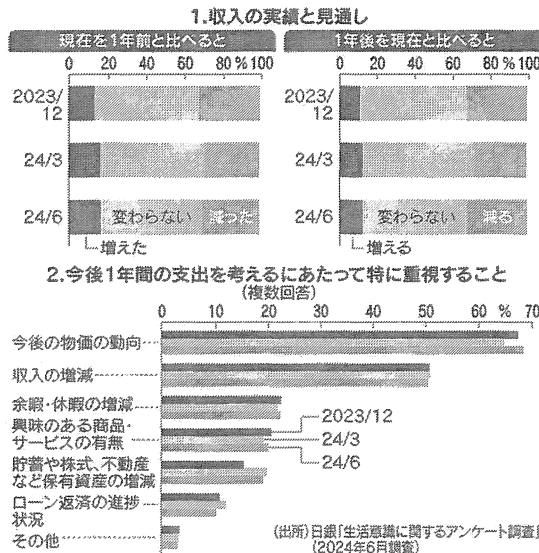


よこやま・いずみ
83年生まれ。ミシガン大博士（経済学）。専門は労働経済学、応用計量経済学

回復鈍い個人消費 ①

横山泉 一橋大学教授

政策の軸、供給力の強化に



中長期的な成長を意図している経済政策を充実させなければ、消費低迷の打破は難しいだろう。中長期的な観点から潜在成長率の引き上げをもちろんでいるが、アウトカム（成果）評価を徹底し、成長につながる政策を実施していくことが重要だ。政府は、賃金上昇が消費低迷の打破につながることを期待しており、それが少子化問題の解決や好景気に直接つながると信じているように見受けられる。しかし問題はそれほど簡単ではない。企業の立場に立つと、人件費の負担を増大させてまで高賃金を支払うのには、それを補填する生産性向上につなげる必要がある。賃上げが実現すれば、それは企業に生産性向上を促すというメッセージを送る。賃上げが実現すれば、それは企業に生産性向上を促すというメッセージを送る。賃上げが実現すれば、それは企業に生産性向上を促すというメッセージを送る。

ポイント
。景気対策中心で中長期的成長の視点欠如
。国全体の賃金引き上げでは問題解決せず
。さらなる労働供給拡大へ阻害要因排除を

企業にとって不況期の賃金引き下げが困難なことを前提とすると、現在の賃金上昇が将来の企業経営を脅かしかねないという懸念が生まれる。そして、こうした行動が賃金の硬直性を生み出す一因となっている。一方で、賃金上昇が労働生産性の向上に寄与するケースも存在する。米経済学者ジョージ・アカロフ氏が82年の研究で提示した「平フット交換モデル」が適用できるケースだ。企業が労働水準を上回る賃金を労働者に支払い、それを労働者が「企業に「公正に」扱われている」というギフトとして受け取る。その場合、労働者はその返礼として自らの労働生産性を引き上げるため、高賃金を労働者の高い労働生産性を引き出すという状況が生まれる。この状況は、理論的に賃金上昇が労働者の生産性向上をもたらす。しかし現在の日本では、人手不足が賃金の引き上げをもたらし、それが企業に高賃金を支払うという状況が生まれる。政府主導で企業が賃金を上げることを推奨している。現状を踏まえて、賃金が上昇しても、労働者が企業に「返礼」して生産性を上げるケースに該当するとは言いにくい。人口減少に伴い働き手不足が深刻になると、高賃金での雇用が優秀な労働者の新規雇用や離職抑制に結びつく側面もある。それに伴って同一企業内の労働者の母集団全体が以前よりレベルの高いものとなるため、統計的な平均値が上がるという現象は起こりうる。だがその場合、企業内の労働者の構成が変わったことによる平均賃金の上昇と、いづれか。生産性の高い既存労働者が上がった賃金レベルでは解雇を恐れることなく、新規採用でも高賃金を支払う価値があるという判断がなされた人は雇用されにくくなる。

中長期的な意味で経済・社会の基盤を強化するには、経済政策の軸を需要拡大から供給力強化にシフトする必要がある。賃金上昇は企業にとって直接的なコスト増であるため、少子化対策で目指されるような若い人の賃金を上上げるのではなく、労働者の生産性向上が不可欠である。だが企業が中長期的に成長していないければ、生産性の向上自体が実現不可能だ。その意味でも供給力を強化し、成長につなげることは重要な。さらに現在の少子化対策で生まれてくる子供が労働力となるまでに10年以上かかることを考慮すると、現在の労働力の強化に真摯に取り組むべきだ。働ける人の中から労働力を確保することは非常に重要であり、労働供給の抑制を招くような制度は見直さなければならない。例えば配偶者控除に合わせる形で、配偶者手当の支給条件として配偶者の収入制限を設ける企業も多い。その結果、勤労者皆保険に

より130万円の「年収の壁」がなくなると、配偶者控除制度が存在する限り、それと結びついて配偶者手当の収入制限も緩く、配偶者控除・配偶者手当の存在が間接的に、第3者被保険者にとっても決断を招くように作用する。労働力の拡充を目指すのであれば、時代遅れとなっている規制を見直し、労働の阻害要因をなくすることが重要だ。さらなる労働供給の拡大には、既に働いている人、働ける人の労働力を最大限に生かす必要がある。働かないと受給資格がもたらさない仕組みで就業を促し、働き始めた後も低所得層の働くインセンティブ（誘因）をそぎ取らない工夫された米国の給付付き勤労所得税減除（EITC）の導入を前向きに検討すべきだ。配偶者控除や配偶者手当が廃止された場合でも、低所得層の家庭でEITCを利用すれば、その効果が低所得層に波及し、失った配偶者控除・配偶者手当の分を補える。このようにEITCには、労働力の拡大、貧困対策といった二つの機能が期待される。成長促進と景気対策は異なるものだが、この二つを認識するべきだ。中長期的な経済成長を実現するため、まずは現在の労働力や潜在的労働力の有効活用に加え、中長期的な雇用を増やすことが必須だ。労働供給を阻害する要因をばらむ制度を見直すとともに、より中長期的な成長を意図している経済政策を実施していくことが、消費低迷を打破する糸口になるだろう。



南山大学

入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)
Fax 052-832-3592
nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

2025年度
南山大学

社会人入学审查

問題集

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

キリスト教学科.....1

経済学科.....3

2025年度南山大学社会人入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 100点

(2024年10月19日実施)

＜人文学部 キリスト教学科＞

以下の文章をよく読んで、質問に日本語で答えなさい。

1. 次の文章の意味を要約しなさい。著者の論点は何であるか。どの立場からどう神について論じているか。全文を直訳する必要はない。(400字程度)
2. 神に性別はあるかという点について自分の考え方を述べなさい。キリスト教的、御子は御父から生まれたということはどういう意味と言えるか。聖書では神は母親ひいては女性的な存在にも喩えられたりするが、それは 1. の論点との整合性があり得るか。神を「父」と呼ぶ／呼ばないことは現代においてどのような意味を持つか。意見だけではなく、必ずその理由も挙げるようにしなさい。(400～600字程度)

“Being immaterial and incorporeal, God is not an animal, and thus he is not a rational animal or human being. And since he is not a human being, he is not literally either a man or a woman. He is sexless. Nevertheless, the traditional practice has been to characterize God in masculine terms, and I have followed that practice in this book. Some contemporary writers object to such usage, dismissing it as “sexist” and lacking in rational justification. Hence they often adopt the “politically correct” and clumsy practice of referring to God as “he/she/it”. But in fact there are good philosophical reasons for the traditional usage.

Consider first of all that as we have seen, there is in God intellect and will, and these attributes are definitive of personality. Accordingly, God cannot appropriately be characterized in impersonal terms, as an “it”. But then, why “he” and “him”, rather than “she” and “her”?

The reason is that God’s relationship to the world is much more like a paternal relationship than it is like a maternal relationship. Biologically speaking, a father’s role in procreation is active insofar as he impregnates, and a mother’s role is passive insofar as she is impregnated. There is no change to the father’s physiology as a consequence of impregnation, whereas there is a radical change in the mother’s physiology*. The mother becomes more physically dependent on the father, who must provide for his mate and for their unborn child—even if, unfortunately, some fathers do not do their duty in this regard. As that sad fact indicates, the father is in no way physically dependent on his mate or their child, which is why he can (even if he shouldn’t) leave the scene. There is also a literal physiological connection

2025年度南山大学社会人入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 100点

(2024年10月19日実施)

＜人文学部 キリスト教学科＞

between the child and its mother that doesn't exist between the child and its father, who is literally more distant during the whole process of gestation.

Now, there are obvious analogies here to God's relationship to the world. God is active insofar as he creates the world, whereas the world is passive insofar as it is created by God. As pure actuality, God is entirely unchangeable, whereas the world is a mixture of actuality and potentiality that is continuously changing. The world depends entirely on God at every instant, whereas God in no way depends on the world. The world could not exist without God even though he could exist without it. God is also utterly distinct from the world rather than being identical to it (as in pantheism) or even continuous with it (as in panentheism*).

So, given the key elements of classical theism, which is the position defended in this book, the most natural and least misleading way of characterizing God is in paternal and thus masculine terms. Maternal imagery would suggest that God is changeable or continuous with the world, which would in turn suggest a panentheist conception of God, or a pantheist conception, or a conception which in some other way is at odds with God's immutability, immateriality, eternity, and pure actuality."

出典：Edward FESER, *Five Proofs of the Existence of God*,
Ignatius Press: San Francisco, 2017, 246-248.

* 万有内在神論のこと。

※ 脚注は一つ省略した。

2025年度南山大学社会人入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 100点

(2024年10月19日実施)

<経済学部 経済学科>

2024年自由民主党総裁選挙を巡り、「解雇規制の緩和」が争点の一つとなった。「雇用規制の緩和」に関する次の2つの資料を読み、問1～問3に答えよ。

資料1 (出典:「社説:党首選の論点 解雇規制の緩和 働き手の権利侵さないか」、『毎日新聞』、毎日新聞社、2024年9月16日(朝刊)、p.5。ただし、抜粋の上、一部改変)

自民党総裁選の論点に、企業が従業員を解雇する際の規制緩和が浮上した。小泉進次郎元環境相が出馬表明時に、従業員の学び直しや再就職支援などの措置を大企業に義務付けたうえで、解雇の要件を見直す案を提唱した。

経営不振を理由にした整理解雇を行う場合、配置転換など人員削減を回避するための対策を十分に講じるなど、四つの要件を満たす必要がある。判例で確立したルールだが、経済界が「厳しすぎる」として緩和を求めている。

解雇のハードルが下がれば、企業は事業の変化に応じて柔軟に従業員を入れ替えることができる。成長分野に人材が移り、産業の新陳代謝が進むという。労働市場の活性化が必要だとの認識は多くの候補が共有する。河野太郎デジタル相は、不当な解雇を行った企業に金銭を支払わせて解決する制度の導入を主張する。

だが、労働者の立場を危うくする解雇規制の緩和は賛否が分かれる。労働組合の連合から支持を受ける立憲民主党は反対する。そもそも、日本の労働者保護制度は主要国の中では緩いとの経済協力開発機構(OECD)の分析もある。非正規社員を守る仕組みが不十分なことや、解雇時の補償金が少ないことなどが要因だ。裁判や労働審判などの救済手段はある。しかし、一般の労働者はなかなか踏み切れない。利用は限られ、不当解雇が後を絶たない。

終身雇用や年功賃金を柱とする日本型雇用が変革を迫られているのは確かだ。若い世代では、転職でキャリアを積み上げる意識が高まっている。ただ、労働規制の見直しには副作用もある。1990年代から働き方の多様化を掲げて緩和を続けた結果、非正規雇用が増えた。

小泉氏は、解雇要件をどう変えるのか明確に説明していない。企業による再就職支援が解雇の正当化に使われるリスクもある。経営側に有利な制度になれば、不利益を被るのは従業員だ。最優先されるべきは、働き手の権利保護である。安易な見直しは将来に禍根を残す。

資料2 (出典:「賃上げへの課題(下) 佐々木勝・大阪大学教授——「適所適材」雇用で生産性向上(経済教室)」、『日本経済新聞』、日本経済新聞社、2022年2月18日(朝刊)、p.28。ただし、抜粋の上、一部改変) 日経の許諾を得ています 無断で複写・転載を禁じます

岸田文雄首相は経済界に賃上げを強く要請している。賃上げを通じて中間層への分配を増やし、消費の刺激からデフレ脱却につなげることで「成長と分配の好循環」を期待している。だが企業が賃上げ要請に応えることは短期的には可能かもしれないが、持続的に可能だろうか。労働者の賃金が伸び悩むのは、生産性が伸び悩んでいることを意味している。日本生産性本部によると時間当たり実質労働生産性上昇率は長い間ゼロ%近辺で推移している。2019年度は0.6%だけ上昇し、そして20年度には0.4%低下した。国際比較では、20年の日本の時間当たり労働生産性は経済協力開発機構(OECD)38カ国中23番目で、平均を下回る。

2025年度南山大学社会人入学審査問題

「小論文」 時間 90分 配点 100点

(2024年10月19日実施)

<経済学部 経済学科>

長期的に賃金を引き上げるには生産性の向上に努めなければいけない。そのための政策として、政府による教育訓練や人への投資といった措置が必要なのは言うまでもなく、労働市場全体の構造改革に取り組まなければならない。本稿では構造改革の一部として、企業と労働者のミスマッチの解消に焦点を当てて論じたい。

雇用のミスマッチとは、企業が求めている能力やスキルと労働者が有する能力やスキルがかみ合わないことだ。かみ合わないがゆえに、本来の生産力が発揮できず、非効率的な生産活動に陥ってしまう。川田恵介・東大准教授によると、12～16年の間で、新規雇用の9%前後がミスマッチにより喪失されている。実際、この期間に求人数と求職者数のズレが幅広い職種で観察される。例えば、事務職は求人を求職者が大幅に上回る過大な労働供給、保安やサービスは過小な労働供給に陥っている。

雇用のミスマッチには「事前のミスマッチ」と「事後のミスマッチ」がある。前者の場合、企業は求めている能力やスキルを有する労働者に出会えず、未充足のままの求人状態が続く。あるいは求められる能力やスキルを有していない労働者が、求職活動してもなかなか仕事が見つからない状態もありうる。一方、生産性に関わるのは事後のミスマッチだ。企業が雇用契約を結んだ後に採用した労働者の能力やスキルが期待していたほどの水準でなかったことに気付くことだ。企業が最新の機材を用意しても、それを扱えるスキルが労働者になれば、機材は宝の持ち腐れになる。ほかにも労働者の能力やスキルに見合う仕事を用意しなければ、その労働者本来の能力を最大限に生かせないケースもある。こうしたミスマッチが、企業と労働者の組み合わせが持つ潜在的な生産性を引き下げる。採用プロセスの段階では互いにわからない部分があるので、必ずしも質の高いマッチングが成立するとは限らない。

労働者の場合、自分の能力やスキルが十分に評価されないなら、転職によりミスマッチは解消される。だが企業が採用した労働者との関係でミスマッチに気づいた場合、解消はなかなか難しい。解雇規制により企業は簡単に被雇用者を解雇できないからだ。ミスマッチの解消を促進するには、労働者が自由に企業を選べるようにするとともに、企業もある程度労働者を選べるようにして、人材の流動化を進めるのが原則だろう。

解雇規制の緩和という労働者にとって不利になるように聞こえるが、必ずしもそうではない。解雇規制の緩和により人材配置の自由度が増す企業は、これまでのように採用に慎重になりすぎる必要がなくなり、採用人数を増やせる。求職活動する労働者にとっても、採用意欲の旺盛な企業に出会う確率が高くなることを意味する。解雇規制の緩和は人材の流動性を高めるので、新たな求人企業に出会い、就職しやすくなる側面もある。全体的にマッチングの機会が増えることで適所に適材が配置され、雇用のミスマッチの解消が期待できる。労働者が解雇された理由がスキルの陳腐化ならば、新たなスキルを習得する職業訓練の機会を用意すればよい。職業訓練のようなセーフティーネット（安全網）を整備したうえで、人材の流動化を促し、ミスマッチの解消を目指すべきだ。

問1. 解雇規制の緩和に対する資料1の主張を200字程度でまとめよ。

問2. 解雇規制の緩和に対する資料2の主張を200字程度でまとめよ。

問3. 資料1と資料2の内容をふまえた上で、解雇規制の緩和に対するあなたの意見を600字程度で述べよ。



南山大学

入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)
Fax 052-832-3592
nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>